



第44回

THE 44th

OITA INTERNATIONAL
WHEELCHAIR MARATHON

大分国際 車いすマラソン



RACING HEARTS

心をひとつに



2025.11.16 SUN

MARATHON
AM 10:00 START!

HALF MARATHON
AM 10:05 START!

MEMORIAL BOOK

大会記念誌



第44回 大分国際車いすマラソン 大会会長
大分県知事

佐藤樹一郎
SATO KIICHIRO

大会会長あいさつ

昭和56(1981)年の国際障害者年に、世界初の車いす単独のマラソンレースとしてスタートした「大分国際車いすマラソン」も、今大会で44回目を迎えました。今年も国内外のトップアスリートや初出場の方など、多くの選手が参加して盛大に開催することができました。

レース当日は、穏やかな晴天に恵まれる中、海外13か国から34名、国内31都道府県から143名、合計177名の選手が自らの限界に挑戦し、162名が完走を果たしました。

マラソン男子最速クラスのT34/53/54では、怪我のため出場がかなわなかったマルセル・フグ選手がレース中盤で抜け出し、自身の持つ世界記録まであと4秒と迫る好タイムで12度目の優勝を飾りました。

また、T33/52クラスでは上与那原 寛和選手が5度目の優勝を果たし、最も障がいの重いT51クラスではピーター・ドゥ・プレア選手が9連覇を達成しました。

マラソン女子においても、T34/53/54クラスで世界ランキング1位のマニエラ・シャー選手が、安定した力強い走りで独走し通算5度目の優勝を果たすなど、世界最高峰の車いすマラソンにふさわしいレースが各クラスで繰り広げられました。

沿道や競技場、映像を通じて熱い声援を送ってくださった皆様をはじめ、大会運営にご協力いただいた企業や団体、医療関係者、ボランティアの皆様など、多くの方々のご支援のおかげで無事大会を終えることができました。心から感謝申し上げます。

結びに、この大会が積み重ねてきた感動と挑戦の歴史を受け継ぎ、スポーツの持つ力を「OITA」の地から世界へ力強く発信していくとともに、障がいの有無や国籍、文化の違いを超え、誰もが心豊かに暮らせる共生社会の実現に向けた尽力を誓い、発刊のあいさつとします。



ファースト チャレンジアシスト

10/5 [日]

ジェイリースタジアム

大分国際車いすマラソンでは、初めて車いすマラソンに挑戦する選手を対象とした支援の取組を実施している。初挑戦の選手に向けた講習会を開催し、実際に大会に参加している選手を講師に迎え、操作技術や走行のポイントについて指導を行った。講習会では、大会前の心構えや準備の方法、レーサーの操作方法に加え、本番までの効果的な練習の進め方を学んだ。写真は開会式での集合写真と、事前に行われた講習会の様子。



海外選手歓迎セレモニー 11/11 [火] レンブラントホテル大分

海外選手の第一陣の到着にあわせ、歓迎セレモニーが行われた。大会事務局および通訳ボランティア Can-do が笑顔で出迎え、大会事務局長からは「大分のファンが皆様と会うのを楽しみにしています」との挨拶があり、あわせて花束が贈呈された。ピーター・ドゥ・プレア選手は「レースを楽しみにしている。大分のすばらしい人々に恩返しをしたい」と抱負を語った。





県民との交流事業 海外選手と園児・児童の 交流

11/12^[水]

大分市立大道小学校

11/13^[木]

カトリック海星幼稚園

出場する海外選手らが、小学生や幼稚園児と交流を行った。児童たちから応援の歌やお守りが贈られ、質問コーナーも盛り上がり、選手たちも笑顔で交流を楽しんだ。



海外選手の地域訪問 (宇佐神宮)

11/14^[金] 宇佐神宮

御鎮座1300年を迎えた宇佐神宮に、南アフリカのピーター・ドゥ・プレア選手ら海外選手が訪れた。選手たちは参拝を行い、本殿前の樹齢約800年のご神木に触れ、見えない力を感じ取るかのように静かに手を合わせた。その後、絵馬にレースへの意気込みや目標を書き込み、競技での活躍を誓った。

クラス分け

11/14^[金] 13:00~18:00 11/15^[土] 8:30~13:00

クラサドーム大分

公正なレースの開催に向け、身体機能や競技パフォーマンスを確認し、対象選手のクラス分けを実施した。



選手受付

11/15^[土] 9:00~12:00

大分県庁舎本館・レンブラントホテル大分

大会前日、海外選手や国内選手が受付を行い、ゼッケンや大会資料を受け取った。選手たちはレース本番に向け、準備を整えた。

開会式

オープニング アトラクション

11/15^{〔土〕} 12:15~ ガレリア竹町ドーム広場

開会式に先立ちオープニングアトラクションを開催。「アートがつなぐちから」をテーマに、太陽の家企業会の主催により、体験型ワークショップやトークイベントが行われ、会場には多くの来場者が訪れ交流の輪が広がった。



開会式 11/15^{〔土〕} 14:00~

ガレリア竹町ドーム広場

出場を控えた選手約100人が会場に集い、開会式が執り行われた。大会会長の佐藤樹一郎大分県知事の言葉に続き、大分市長、駐日スイス大使からも激励の言葉が送られ大会は幕を開けた。選手たちの表情からは、翌日のスタートに向けた緊張感が感じられた。



大会会長あいさつ／大分県知事
佐藤 樹一郎
SATO KIICHIRO



地元市長あいさつ／大分市長
足立 信也
ADACHI SHINYO



来賓あいさつ／駐日スイス大使
ロジェ・ドゥバッハ
ROGER DUBACH



選手宣誓

中尾 有沙 選手 熊本県

昨年のハーフマラソンで初出場・初優勝を果たした熊本県の中尾有沙選手が「それぞれの想いとそれぞれのゴールに向かって最後まで全力で駆け抜けることを誓います」と、力強く宣誓を行った。





パレード

開会式終了後、選手たちは中央町商店街、赤レンガ商店街を巡るパレードを行った。大分商業高校吹奏楽部を先頭に、商店街を進む選手たちを、沿道に集まった多くの来場者が声援と拍手で迎えた。笑顔で手を振る選手と、それに応える観客の姿が街に広がり、大会の開幕を祝う華やかな時間となった。



記者会見 11/15 [土] 15:00~ ガレリア竹町ドーム広場

有力選手6名が記者会見を行い、昨年2位の鈴木朋樹選手は「明日はマルセル選手にしっかりついていけるように…」と意気込みを語った。2年ぶり出場のマルセル・フグ選手は「大分に戻ってこれるととてもうれしいです。今シーズン最後のマラソンになるので精一杯走って良い記録が出せれば」と話した。



鈴木 朋樹
SUZUKI TOMOKI
埼玉県



マルセル・フグ
MARCEL HUG
スイス



マニエラ・シャー
MANUELA SCHÄR
スイス



土田 和歌子
TSUCHIDA WAKAKO
東京都



伊藤 竜也
ITO TATSUYA
福井県



ピーター・ドゥ・プレア
PIETER DU PREEZ
南アフリカ



工藤金次郎さん追悼



スタート直前

秋の晴天の中、選手たちはウォーミングアップを行いながら身体の状態を確かめ、それぞれのレースへの思いを胸に集中を高めていった。一方、運営スタッフやボランティアは、安全な大会運営に向けてコースや誘導體制、競技運営の最終確認を重ね、号砲の瞬間を待った。





スタート

11/16(日) 10:00~
マラソンスタート
大分県庁前

大会会長の号砲により、42.195キロのレースが始まった。風のない晴天の下、選手たちは、己の限界に挑むレースへと踏み出していった。



マラソン スターター
大会会長 大分県知事
佐藤 樹一郎





11/16日 10:05~
ハーフマラソンスタート
大分県庁前

マラソンのスタートから5分後、ハーフマラソンがスタート。それぞれの挑戦に向けたレースが幕を開けた。



ハーフマラソン スターター
大分合同新聞社 代表取締役社長

長野 景一



レースの様子

最初の難関 舞鶴橋



マラソン男子 先頭集団



マラソン女子 先頭



マラソン男子T33/52 先頭集団



マラソン男子 第2集団



マラソン男子T51 先頭



ハーフマラソン男子 先頭集団



マラソン女子T33/52 15年ぶりの疾走



懸命に登る選手



沿道の応援



周回コース(県道22号)へ突入 西中浜交差点



交通規制開始後準備するスタッフ



ハーフマラソン男子 集団



ハーフマラソン女子
T34/53/54 先頭



マラソン男子 集団



マラソン女子選手 第2集団

弁天大橋 往路



5km地点の設営



沿道の大声援を受けて疾走する選手

第1折返し王子港町



レースの様子

最大の難関 弁天大橋 復路 声援を力に変えて坂を登る選手たち



ハーフマラソン折返し 三海橋



ラストスパート



ラスト500m



44回連続出場の前田耕一選手 貫禄の奔走



勝利の瞬間 マラソン

マラソン男子 T34/53/54 優勝



マルセル・フグ

スイス

MARCEL HUG
SWITZERLAND

1° 17' 51"



スイスのマルセル・フグが、2位以下の選手に4分以上の差をつける圧倒的な強さで12度目の頂点に立った。自身の持つ世界記録には惜しくも届かなかったものの、レース後には「全てを出し切った」と爽やかに語った。

マラソン男子 T33/52 優勝



上与那原 寛和

うえよなばる ひろかず

沖縄県

UEYONABARU HIROKAZU
OKINAWA

1° 50' 05"



持久力強化に注力したトレーニングを行い、2年ぶり5度目の優勝、自分のペースを崩さず走り、手が止まりそうになった時、沿道からの「頑張れ」の声で最後まで踏ん張れたと感謝も口にした。早くも、来年はタイムを縮めたいと、次なる挑戦へ意欲をみせた。



マラソン女子 T34/53/54 優勝



マヌエラ・シャー

スイス

MANUELA SCHÄR
SWITZERLAND

1° 38' 55"



2年ぶりの出場で2019年以来5度目の優勝。内容も、5km地点あたりで独走状態になり、圧巻の走りで完勝。「ホームのような大分で優勝できて本当に嬉しい」と、強い思い入れを語った。

マラソン男子 T51 優勝



ピーター・ドゥ・プレア

南アフリカ

PIETER DU PREEZ
SOUTH AFRICA

2° 33' 19"



ベストコンディションで挑み、11月とは思えない暑さと風で苦しんだが、家族や沿道の声援を受け、9連覇を飾った。「また戻って来たい」と語り、来年の10連覇を見据えた。

勝利の瞬間 ハーフマラソン

ハーフマラソン男子 T34/53/54 優勝



久保 恒造

くぼ こうぞう

北海道

KUBO KOZO
HOKKAIDO

0° 44' 09"

スタートからトップ集団でレースを進め、10km過ぎに果敢にスパート。そこからは独走の展開に持ち込み見事優勝をつかみ取った。来年はフルマラソンにエントリーし、絶対王者マルセル・フグ選手への挑戦を目標に掲げた。



ハーフマラソン男子 T33/52 優勝



寺島 正樹

てらしま まさき

福井県

TERASHIMA MASAKI
FUKUI

0° 57' 18"

走りやすいコース条件にも恵まれ、実力以上の結果を出せたと語るとおり、終始安定したレース運びで後続を突き放し、初出場ながら見事初優勝を飾った。



ハーフマラソン男子 T51 優勝



清田 慎也

きよた しんや

熊本県

KIYOTA SHINYA
KUMAMOTO

1° 38' 56"

3年ぶりに井上選手を抑えての優勝。苦手とするスタートで序盤は苦しい展開となったが、職場の仲間から贈られたお守りと温かい声援を力に変え、見事優勝をつかみ取った。





ハーフマラソン女子 T34/53/54 優勝



中尾 有沙

なかお ありさ

熊本県

NAKAO ARISA
KUMAMOTO

0' 59' 21"

圧勝で2連覇を飾ったものの「昨年よりタイムが落ちて残念な気持ちもある」と胸の内を明かした。昨年の大会後入院し、思うような練習が積めなかったことを悔みつつも、その中でつかんだ優勝に確かな手応えをにじませた。



ハーフマラソン女子 T33/52 優勝



田中 照代

たなか てるよ

愛知県

TANAKA TERUYO
AICHI

1' 14' 18"

2年ぶり2度目の優勝を果たした。「気温が高くて厳しいレースだった。レーサーとグローブを変えたばかりだったので、まずは完走出来てほっとしている」と振り返り安堵の表情を見せた。



フィニッシュ後





閉会式



ハーフマラソン T51 男子



大会実行委員長 大分県福祉保健部長
首藤 文彦



優勝 清田 慎也
KIYOTA SHINYA



2位 井上 聡
INOUE SATOSHI



3位 長崎 裕也
NAGASAKI YUYA





ハーフマラソン T33/52 女子



大分県障がい者スポーツ協会 会長
佐藤 章



優勝
田中 照代
TANAKA TERUYO



2位
木山 由加
KIYAMA YUKA



ハーフマラソン T33/52 男子



優勝
寺島 正樹
TERASHIMA MASAKI



2位
服部 周恩
HATTORI SHUON



3位
赤井 俊之
AKAI TOSHIYUKI



閉会式

ハーフマラソン T34/53/54 女子



一般社団法人 日本パラ陸上競技連盟 会長
増田 明美



優勝
中尾 有沙
NAKAO ARISA



2位
棚田 優子
TANADA YUKO



3位
片平 留依
KATAHIRA RUI



ハーフマラソン T34/53/54 男子



陸上自衛隊 第41普通科連隊 連隊長
井出 智昭



優勝
久保 恒造
KUBO KOZO



2位
大橋 昭文
OHASHI AKIFUMI



3位
豊田 響心
TOYOTA HIBIKI





ハーフマラソン 三菱商事賞(新人賞)



三菱商事株式会社 代表取締役 常務執行役員
野島 嘉之



T33/52男子
寺島 正樹
TERASHIMA MASAKI



T34/53/54女子
田中 詩乃
TANAKA SHINO



T34/53/54男子
藤島 努
FUJISHIMA TSUTOMU



ハーフマラソン スイス賞



駐日スイス特命全権大使
ロジェ・ドウバッハ

[受賞者]

ハーフマラソン 男子 T51	清田 慎也
ハーフマラソン 女子 T33/52	田中 照代
ハーフマラソン 男子 T33/52	寺島 正樹
ハーフマラソン 女子 T34/53/54	中尾 有沙
ハーフマラソン 男子 T34/53/54	久保 恒造



閉会式

マラソン T51 男子



公益財団法人 日本パラスポーツ協会
日本パラリンピック委員会 委員長
三阪 洋行



優勝
ピーター・ドゥ・プレア
PIETER DU PREEZ



2位
ジョン・マッカーシー
JOHN JOSEPH MCCARTHY



3位
エルネスト・フォンセカ
ERNESTO FONSECA



マラソン T33/52 男子



大分市長
足立 信也



優勝
上与那原 寛和
UEYONABARU HIROKAZU



2位
伊藤 竜也
ITO TATSUYA



3位
クリスチャン・トーレス
CRISTIAN EDUARDO TORRES





マラソン T34/53/54 女子



大分合同新聞社 取締役
児玉 真路



優勝
マニエラ・シャー
MANUELA SCHÄR



2位
パトリアシア・イーカス
PATRICIA EACHUS



3位
仲嶺 翼
NAKAMINE TSUBASA



マラソン T34/53/54 男子



大会会長 大分県知事
佐藤 樹一郎



優勝
マルセル・フグ
MARCEL HUG



2位
羅興伝 (ロー・シンツウエン)
LUO XINGCHUAN



3位
鈴木 朋樹
SUZUKI TOMOKI



閉会式

オムロン賞



オムロン株式会社
取締役
行本 閑人



[受賞者]

ハーフマラソン 女子 T34/53/54 中尾 有沙
ハーフマラソン 男子 T34/53/54 久保 恒造
マラソン 女子 T34/53/54 マニエラ・シャー
マラソン 男子 T34/53/54 マルセル・フグ

中村裕賞



中村裕パラスポーツサポートミーティング
篠原 彩



[受賞者]

マラソン 男子 T51 ピーター・ドゥ・プレア
マラソン 男子 T33/52 上与那原 寛和
マラソン 女子 T34/53/54 マニエラ・シャー
マラソン 男子 T34/53/54 マルセル・フグ

ソニー賞



ソニーグループ株式会社
取締役代表執行役社長 CEO
十時 裕樹



[受賞者]

マラソン 男子 T51 ピーター・ドゥ・プレア
マラソン 男子 T33/52 上与那原 寛和
マラソン 女子 T34/53/54 マニエラ・シャー
マラソン 男子 T34/53/54 マルセル・フグ



スポーツ庁長官賞



スポーツ庁長官
河合 純一



[受賞者]

マラソン 女子 T34/53/54 マニエラ・シャー
マラソン 男子 T34/53/54 マルセル・フグ

デンソー賞



株式会社デンソー
上席執行幹部
総務・人事部 副本部長
神戸 千隆



[受賞者]

マラソン 女子 T34/53/54 マニエラ・シャー
マラソン 男子 T34/53/54 マルセル・フグ

新日本製薬賞



新日本製薬株式会社
H&B事業本部管掌 執行役員
霜出 大輔



[受賞者]

マラソン 女子 T34/53/54 マニエラ・シャー
マラソン 女子 T34/53/54 パトリシア・イーカス
マラソン 女子 T34/53/54 仲嶺 翼

大会会長あいさつ



大会会長 大分県知事
佐藤 樹一郎



閉会式が終わって





11/16 [日] 18:30~20:30 レンブラントホテル大分

選手や家族、ボランティアによる交流の会が開かれ、来年のさらなる活躍を皆で誓いあった。また、会場では茶道や和太鼓など日本文化を体験できる催しも行われ、大いに盛り上がりを見せた。



乾杯あいさつ 大分県障がい者スポーツ協会 会長
佐藤 章



茶道裏千家淡交会



楊志館高等学校 邦楽部



協賛企業 ボランティア



オムロン株式会社



ソニーグループ株式会社



本田技研工業株式会社



三菱商事株式会社



株式会社デンソー



エフサステクノロジーズ株式会社



新日本製薬株式会社



日本生命保険相互会社



株式会社クラフティア



FIG株式会社



キヤノン株式会社



ジブラルタ生命株式会社



清水建設株式会社



全日本空輸株式会社



全国共済農業協同組合連合会



東京海上日動火災保険株式会社



第一生命保険株式会社



鬼塚電気工事株式会社



NTT西日本株式会社



ブンゴヤヘルス・ケア



トランスコスモス株式会社



明治安田生命保険相互会社



株式会社三井住友銀行



山九株式会社



通訳ボランティア Can-doと大分県立芸術文化短期大学のみなさん



大分リハビリテーション専門学校



楊志館高等学校



大分東明高等学校(スタート)



大分東明高等学校(閉会式)



医務スタッフ





九州電力株式会社



大分航空ターミナル株式会社



大分みらい信用金庫



イオン九州株式会社



連合大分



大分県ボランティア・市民活動センター



大分市役所職員・大分県土木事務所



大分県ボランティア・市民活動センター



大分市役所職員・大分県土木事務所



ホンダ提供 審判長車 (N-BOX)



陸上自衛隊 別府駐屯地 第41普通科連隊



大分県警察



大分陸上競技協会



本大会の魅力を伝えることを目的に
フォトコンテストを開催。
全164点の作品が寄せられた
中から入賞作品を紹介。

グランプリ



「僕と先輩アスリート」
坂井典子

協力／ **SONY**

 **新日本製薬**

美と健康の「新しい」で、笑顔あふれる毎日をつくる。

SONY賞



「ゴールを目指して」
吉岡邦好

優秀賞



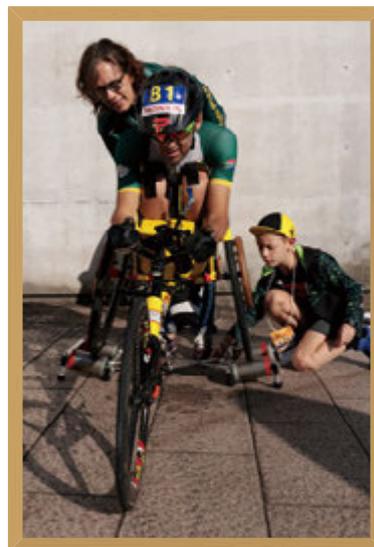
「激流」
高原圭司

優秀賞



「気合いだ〜」
中島拓三

新日本製薬賞



「ワンチーム」
三浦桂子



 第44回

大分国際車いすマラソン

THE 44th OITA INTERNATIONAL WHEELCHAIR MARATHON

資料編

マラソン クラス別順位 / Rankings for Marathon in each class

●T51 女子 出走者なし

●T51 男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	2° 33' 19"	81	ピーター・ドゥ・プレア	45	南アフリカ
2	2° 36' 29"	82	ジョン・マッカーシー	51	アイルランド
3	2° 50' 16"	83	エルネスト・フォンセカ	44	コスタリカ

世界記録：ピーター・ドゥ・プレア (南アフリカ) 2° 22' 33" 2022 第41回大分国際
 日本記録：井上 聡 (愛媛県) 2° 30' 32" 2006 サン・アントニオ
 大会記録：ピーター・ドゥ・プレア (南アフリカ) 2° 22' 33" 2022 第41回大分国際

●T33/52 女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
-	DNF	71	濱川 愛	36	沖縄県

世界記録：八巻 智美 (福島県) 2° 07' 28" 2008 第28回大分国際
 日本記録：八巻 智美 (福島県) 2° 07' 28" 2008 第28回大分国際
 大会記録：八巻 智美 (福島県) 2° 07' 28" 2008 第28回大分国際

●T33/52 男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 50' 05"	62	上与那原 寛和	54	沖縄県
2	1° 54' 48"	61	伊藤 竜也	39	福井県
3	2° 03' 14"	65	クリスチャン・トーレス	44	コロンビア
4	2° 06' 38"	63	松本 直幸	46	福岡県
5	2° 48' 04"	64	ノーバート・ホロワット	28	アメリカ

世界記録：トーマス・ガイアシュペヘラー (オーストリア) 1° 40' 07" 2008 北京パラリンピック
 日本記録：上与那原 寛和 (沖縄県) 1° 40' 10" 2008 北京パラリンピック
 大会記録：サンティアゴ・サンツ (スペイン) 1° 43' 46" 2007 第27回大分国際

●T34/53/54 女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 38' 55"	51	マニュエラ・シャー	40	スイス
2	1° 45' 16"	52	パトリシア・イーカス	36	スイス
3	1° 46' 24"	54	仲嶺 翼	35	沖縄県
4	1° 50' 04"	55	エメリア・ペリー	32	アメリカ
5	1° 51' 49"	56	瀧村 和美	42	東京都
6	2° 20' 28"	57	正木 楓	30	神奈川県
-	DNF	53	土田 和歌子	51	東京都
-	DNS	58	ステラ・ジョンウェ	24	ジンバブエ

世界記録：カテリーヌ・デブルナー (スイス) 1° 34' 16" 2023 ベルリン
 日本記録：喜納 翼 (沖縄県) 1° 35' 50" 2019 第39回大分国際
 大会記録：カテリーヌ・デブルナー (スイス) 1° 35' 11" 2023 第42回大分国際
 マニュエラ・シャー (スイス) 1° 35' 11" 2023 第42回大分国際

●T34/53/54 男子

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 17' 51"	1	マルセル・フグ	39	スイス
2	1° 21' 55"	3	羅興伝(ロー・シンツウエン)	22	中国
3	1° 23' 53"	2	鈴木 朋樹	31	埼玉県
4	1° 28' 04"	7	岸澤 宏樹	29	東京都
5	1° 28' 07"	8	吉田 竜太	44	東京都
6	1° 32' 08"	4	渡辺 勝	33	福岡県
7	1° 32' 12"	12	ユ・ビョンフン	53	韓国
8	1° 32' 14"	9	西田 宗城	41	大阪府
9	1° 34' 03"	5	洞ノ上 浩太	51	福岡県
10	1° 34' 08"	14	佐々木 凜平	29	東京都
11	1° 36' 05"	13	吉田 高志	47	大阪府
12	1° 37' 43"	11	河室 隆一	52	大分県
13	1° 38' 43"	18	武村 浩生	37	福岡県
14	1° 38' 43"	15	松永 仁志	53	岡山県
15	1° 38' 55"	10	副島 正純	55	長崎県
16	1° 38' 55"	6	樋口 政幸	46	千葉県
17	1° 46' 58"	28	イ・ジョング	22	韓国
18	1° 47' 00"	17	佐藤 健	42	埼玉県
19	1° 47' 01"	23	枝川 哲也	43	兵庫県
20	1° 49' 49"	20	ユン・ヒョンジェ	37	韓国
21	1° 50' 30"	30	大西 慶尚	33	兵庫県
22	1° 51' 17"	16	安岡 チョーク	52	東京都
23	1° 51' 18"	25	松永 大護	23	静岡県
24	1° 51' 22"	37	炭谷 延幸	48	福岡県

世界記録：マルセル・フグ (スイス)
 日本記録：鈴木 朋樹 (東京都)
 大会記録：マルセル・フグ (スイス)

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
25	1° 51' 25"	32	西岡 英治	47	愛媛県
26	1° 53' 05"	33	山本 行文	71	熊本県
27	1° 54' 09"	48	澤田 光	45	愛知県
28	1° 54' 21"	22	マシュー・クラーク	49	イギリス
29	1° 54' 57"	31	佐伯 秋浩	58	愛媛県
30	1° 56' 59"	29	笹原 廣喜	51	大分県
31	2° 00' 29"	44	印具 徹哉	35	福岡県
32	2° 01' 16"	27	山口 悟志	69	愛媛県
33	2° 01' 42"	26	渡邊 敏貴	58	東京都
34	2° 01' 45"	42	マシュー・ジェームズ・ティンブリー	37	アメリカ
35	2° 01' 47"	36	橋爪 淳	63	神奈川県
36	2° 11' 23"	34	松尾 健次	57	佐賀県
37	2° 12' 01"	41	マシュー・デイビス	58	アメリカ
38	2° 15' 06"	35	浜田 和成	62	大阪府
39	2° 17' 56"	40	海野 剛	50	静岡県
40	2° 18' 37"	39	馬本 節男	67	広島県
41	2° 18' 50"	43	イアン・ローデ	47	オーストラリア
42	2° 38' 02"	45	ピーター・ホーキンス	61	アメリカ
43	2° 39' 17"	46	ウィリアム・レア	67	アメリカ
-	DNF	21	ヴァンソン・ジュリアン・ラポー	41	フランス
-	DNS	19	プレット・マッカーサー	60	オーストラリア
-	DNS	24	アルフォンソ・サラゴサ	49	メキシコ
-	DNS	47	エルフォード・モヨ	58	ジンバブエ
-	DNS	38	モーリーン・ウィリアム・アリ	23	ジンバブエ

1° 17' 47" 2021 第40回大分国際
 1° 18' 37" 2021 第40回大分国際
 1° 17' 47" 2021 第40回大分国際

ハーフマラソン クラス別順位 / Rankings for Half Marathon in each class

●T51 女子 出走者なし

●T51 男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 38' 56"	202	清田 慎也	31	熊本県
2	1° 40' 54"	201	井上 聡	47	愛媛県
3	1° 50' 21"	203	長崎 裕也	43	東京都
-	DNF	211	甲斐 邦生	55	大分県
-	DNF	221	木下 哲也	37	大阪府
-	DNS	207	清水 佑太	39	大分県

大会記録：三浦 尊 (愛知県)

1° 04' 09" 1999 第19回大分国際

●T33/52 女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 14' 18"	306	田中 照代	66	愛知県
2	1° 17' 01"	309	木山 由加	41	岡山県
-	DNF	313	平川 華子	34	熊本県
-	DNS	303	西村 柚菜	23	静岡県

大会記録：ジェニー・エリザベット・ルンドブラッド

(スウェーデン) 58' 03" 2002 第22回大分国際

●T33/52 男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	0° 57' 18"	125	寺島 正樹 (新人賞)	32	福井県
2	1° 07' 15"	145	服部 周恩	42	滋賀県
3	1° 12' 08"	155	赤井 俊之	37	兵庫県
4	1° 14' 10"	220	チョン・ジョンデ	40	韓国
5	1° 18' 22"	166	飯嶋 毅洋	47	大阪府
6	1° 18' 22"	167	小幡 健	62	北海道
7	1° 26' 13"	183	岩上 豪一	62	鳥取県
8	1° 27' 48"	189	小出 公典	52	大分県
9	1° 33' 06"	191	比嘉 三男	60	沖縄県
10	1° 36' 31"	193	川久保 一馬	75	佐賀県
11	1° 38' 03"	188	田湊 寿一	45	大分県
12	1° 39' 05"	194	中崎 真	56	鹿児島県

大会記録：伊藤 竜也 (福井県)

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
13	1° 52' 12"	200	西島 健一郎	61	熊本県
14	1° 52' 30"	209	清原 大輝	21	宮崎県
-	DNF	212	洲鎌 敏美	68	沖縄県
-	DNF	219	新里 優	72	沖縄県
-	DNF	227	モハメド・モハシン	38	バングラデシュ
-	DNS	136	ナタン・モラレス・ペラスケス	50	メキシコ
-	DNS	170	安野 祐平	35	鳥取県
-	DNS	184	後藤 忠正	70	熊本県
-	DNS	190	櫻井 悠也	32	愛知県
-	DNS	205	矢島 一樹	28	熊本県
-	DNS	210	尾島 宏治	45	大分県
-	DNS	226	工藤 金次郎	99	徳島県

52' 47" 2023 第42回大分国際

●T34/53/54 女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	0° 59' 21"	301	中尾 有沙	38	熊本県
2	1° 07' 29"	302	棚田 優子	63	富山県
3	1° 10' 27"	308	片平 留依	32	福岡県
4	1° 13' 47"	307	山入端 依子	63	沖縄県
5	1° 14' 23"	315	田中 詩乃 (FCA) 新人賞	17	熊本県
6	1° 24' 23"	304	見崎 真未	23	熊本県
7	1° 42' 08"	311	西山 美沙希	25	大分県
8	1° 47' 39"	318	尾形 千笑 (FCA)	35	福岡県

大会記録：土田 和歌子 (東京都)

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
9	1° 56' 00"	312	吉川 葉都美	52	茨城県
10	2° 05' 27"	320	戸次 美保 (FCA)	51	大分県
11	2° 08' 04"	316	相川 美晴 (FCA)	26	大分県
-	DNF	314	グエン・ティ レ クエン	37	ベトナム
-	DNF	317	田中 鈴那 (FCA)	25	福岡県
-	DNS	305	中村 来夢	18	東京都
-	DNS	310	藤光 みどり	39	大分県
-	DNS	319	福家 育美 (FCA)	40	滋賀県

49' 36" 2000 第20回大分国際

●T34/53/54 男子

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	0° 44' 09	102	久保 恒造	44	北海道
2	0° 45' 20	104	大橋 昭文	40	愛知県
3	0° 46' 19	111	豊田 響心	19	岡山県
4	0° 46' 19	113	遠山 勝元	19	東京都
5	0° 47' 27	106	西 勇輝	31	東京都
6	0° 47' 32	105	山口 修平	39	大分県
7	0° 48' 28	103	キム・ジョンボム	29	韓国
8	0° 48' 28	108	廣道 純	51	大分県
9	0° 50' 10	112	渡邊 幹司	48	広島県
10	0° 50' 11	109	用田 竹司	49	京都府
11	0° 51' 43	115	藤島 努(新人賞)	49	愛知県
12	0° 51' 43	107	仲泊 厚志	20	岡山県
13	0° 51' 45	110	大津 圭介	58	福岡県
14	0° 54' 34	120	笹原 拓歩	25	大分県
15	0° 54' 35	118	キム・ドユン	20	韓国
16	0° 54' 38	114	山本 秀明	49	広島県
17	0° 55' 54	161	山岸 夕馬	16	神奈川県
18	0° 56' 44	129	中井 康彦	46	大阪府
19	0° 57' 02	137	ハインツ・フライ	67	スイス
20	0° 57' 18	124	ユ・ヒョンデ	52	韓国
21	0° 57' 42	127	古畑 篤郎	31	東京都
22	0° 58' 33	218	イ・ユノ	45	韓国
23	0° 59' 22	132	キム・ビョンフン	21	韓国
24	0° 59' 33	119	中田 真也	47	長野県
25	0° 59' 59	128	イ・ウチャン	30	韓国
26	1° 00' 12	122	櫻井 秀彦	48	静岡県
27	1° 00' 50	130	内田 琢馬	23	佐賀県
28	1° 02' 00	150	岩下 啓三	50	熊本県
29	1° 02' 23	147	石田 翔太	33	愛媛県
30	1° 02' 54	143	山口 拓	33	愛知県
31	1° 02' 54	140	ジェフリー・トラペット	46	オーストラリア
32	1° 04' 00	133	鈴木 俊光	69	静岡県
33	1° 04' 03	144	飯塚 裕治	52	島根県
34	1° 04' 05	157	マハラジャン・スジャン	30	大分県
35	1° 04' 23	134	八田 カルロス	51	愛知県
36	1° 07' 11	149	吉村 正年	53	愛知県
37	1° 07' 27	142	フゴー・ミュラー	62	スイス
38	1° 08' 00	148	内賀島 守	64	熊本県
39	1° 08' 17	131	三浦 智晴	58	大分県
40	1° 08' 27	138	城 隆志	65	大分県
41	1° 08' 50	159	本田 昌士	48	大分県
42	1° 09' 29	141	鎌田 成利	43	徳島県
43	1° 09' 44	165	杉本 雅樹	61	京都府
44	1° 09' 46	152	竹内 信広	49	大分県
45	1° 10' 14	214	丸久 実	43	岡山県
46	1° 10' 18	217	グエン・ヴァン・ビック	57	ベトナム
47	1° 10' 24	168	和氣 佳汰	15	福岡県
48	1° 12' 24	173	堤 福仁	18	宮崎県
49	1° 12' 34	160	前原 彰太郎	35	宮崎県

大会記録：生馬 知季

(岡山県)

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
50	1° 14' 17	126	安達 新一	62	熊本県
51	1° 14' 24	151	津崎 裕之	57	熊本県
52	1° 14' 53	224	戸田 保志 (FCA)	56	香川県
53	1° 15' 30	158	能島 孝洋	43	岡山県
54	1° 16' 14	213	大迫 立己	23	鹿児島県
55	1° 16' 55	153	原田 耕一	68	大分県
56	1° 17' 28	154	野田 浩二	58	大分県
57	1° 18' 13	171	ヴィンチ・カヴィッキア	63	スイス
58	1° 18' 24	215	吉原 滝	49	沖縄県
59	1° 19' 57	181	新地 亮平	44	鹿児島県
60	1° 23' 05	172	山入端 清宗	73	沖縄県
61	1° 23' 06	174	柴田 凌	31	大阪府
62	1° 25' 18	164	高峯 俊	24	熊本県
63	1° 25' 46	222	阿部 稜玖 (FCA)	22	東京都
64	1° 26' 40	178	辻野 春翔	20	福岡県
65	1° 26' 46	180	井崎 英明	56	大分県
66	1° 29' 32	169	佐藤 隆信	63	大分県
67	1° 31' 01	182	酒井 俊二	72	愛知県
68	1° 31' 39	177	根岸 勇気	16	東京都
69	1° 32' 03	175	荒平 楓	22	鹿児島県
70	1° 33' 33	197	梶取 春斗	15	大分県
71	1° 33' 54	192	花水 知明	39	大分県
72	1° 37' 59	195	比嘉 諒人	24	沖縄県
73	1° 51' 17	196	立川 隼	19	大分県
74	1° 56' 58	198	岡田 勇	54	埼玉県
75	1° 59' 31	206	川添 圭介	41	宮崎県
-	DNF	146	吉川 勇	72	大分県
-	DNF	187	宮田 実	75	福岡県
-	DNF	216	福元 剛士	23	兵庫県
-	DNF	225	村上 陽一 (FCA)	68	宮城県
-	DNS	101	生馬 知季	33	岡山県
-	DNS	116	馬場 達也	36	東京都
-	DNS	117	金児 知哉	57	長野県
-	DNS	121	横田 茂	68	石川県
-	DNS	123	長崎 和志	45	新潟県
-	DNS	135	片倉 政人	66	沖縄県
-	DNS	139	藤原 修	62	大分県
-	DNS	156	大上 克	42	大分県
-	DNS	162	馬場 和也	45	京都府
-	DNS	163	市野 隆	67	静岡県
-	DNS	176	塩地 優	37	大分県
-	DNS	179	荻堂 盛助	78	沖縄県
-	DNS	185	外山 哲功	71	宮崎県
-	DNS	186	坂本 悠弥	31	熊本県
-	DNS	199	吉廣 匡介	62	大分県
-	DNS	204	クリシュナ・ラージ・チョドリー	43	ネパール
-	DNS	208	斉藤 竜一	25	大分県
-	DNS	223	石原 真一 (FCA)	58	宮崎県

43' 05"

2023 第42回大分国際

第44回大分国際車いすマラソン 国、都道府県別の出走者数

The 44th Oita International Wheelchair Marathon The Number of Participants of Countries & Territories

国内参加者 Japanese Participants

都道府県名 Prefecture	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
北海道			2		2
宮城県			1		1
茨城県				1	1
埼玉県	2		1		3
千葉県	1				1
東京都	5	2	6		13
神奈川県	1	1	1		3
富山県				1	1
福井県	1		1		2
長野県			1		1
静岡県	2		2		4
愛知県	1		6	1	8
滋賀県			1		1
京都府			2		2
大阪府	3		4		7
兵庫県	2		2		4
鳥取県			1		1
島根県			1		1
岡山県	1		4	1	6
広島県	1		2		3
徳島県			1		1
香川県			1		1
愛媛県	3		2		5
福岡県	6		4	3	13
佐賀県	1		2		3
長崎県	1				1
熊本県	1		7	4	12
大分県	2		19	3	24
宮崎県			4		4
鹿児島県			4		4
沖縄県	1	2	6	1	10
計	35	5	88	15	143

海外参加者 Foreign Participants

国または地域名 Country & Territory	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
オーストラリア (AUSTRALIA)	1		1		2
中国 (CHINA)	1				1
コロンビア (COLOMBIA)	1				1
コスタリカ (COSTARICA)	1				1
フランス (FRANCE)	1				1
イギリス (GREAT BRITAIN)	1				1
アイルランド (IRELAND)	1				1
韓国 (KOREA)	3		7		10
南アフリカ (SOUTH AFRICA)	1				1
スイス (SWITZERLAND)	1	2	3		6
アメリカ (U.S.A.)	5	1			6
ベトナム (VIETNAM)			1	1	2
バングラデシュ (BANGLADESH) ※初出場			1		1
計	17	3	13	1	34

クラス別

	マラソン Marathon			ハーフマラソン Half Marathon			合計 Total
	男 Male	女 Female	合計 Total	男 Male	女 Female	合計 Total	
T34/53/54	44	7	51	79	13	92	143
T33/52	5	1	6	17	3	20	26
T51	3		3	5		5	8
合計 Total	52	8	60	101	16	117	177

参加者 (種目集計) Participants

参加者数 Participants	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total	
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
国内 Japanese Participants 31都道府県	35	5	88	15	123	20
		40		103		143
海外 Foreign Participants 13か国・地域	17	3	13	1	30	4
		20		14		34
合計 Total 14か国・地域	52	8	101	16	153	24
		60		117		177

第44回大分国際車いすマラソン 実施要綱

1 目的

この大会は、日本国内及び外国・地域の身体に障がいのある方が車いすマラソンを通じて、希望と勇気をもって社会に参加する意欲を喚起するとともに、広く県民が障がいのある方についての関心と理解を深めることを目的とする。

2 名称

第44回大分国際車いすマラソン

3 主催

大分県、公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、大分市、大分合同新聞社、社会福祉法人大分県社会福祉協議会、大分県障がい者スポーツ協会

4 公認

世界パラ陸上競技連盟 (World Para Athletics)

(この大会は、WPA Approved Eventとして公認されている。マラソンについては、国際パラリンピック委員会(IPC)選手ライセンス登録が完了し、かつ国際クラスを保持する選手の結果及び記録のみ、WPAの公認対象となる。なお、ハーフマラソンの全結果は、WPAの公認対象ではない。)

5 主管

一般財団法人大分陸上競技協会

6 共催

株式会社大分放送

7 後援

外務省、厚生労働省、スポーツ庁、大分県教育委員会、大分市教育委員会、公益財団法人大分県スポーツ協会、一般社団法人大分県身体障害者福祉協会、社会福祉法人大分合同福祉事業団、社会福祉法人太陽の家、社会福祉法人大分県共同募金会、公益社団法人大分県理学療法士協会、NHK 大分放送局、株式会社テレビ大分、大分朝日放送株式会社、株式会社エフエム大分

8 協賛

オムロン株式会社、ソニーグループ株式会社、本田技研工業株式会社、三菱商事株式会社、株式会社デンソー、株式会社本田技術研究所、エフサステクノロジーズ株式会社、新日本製薬株式会社、一般社団法人中村裕パラスポーツサポートミーティング、株式会社大分銀行、株式会社クラフティア、富士通株式会社、キヤノン株式会社、株式会社シッパス、ジブラルタ生命保険株式会社、清水建設株式会社、公益社団法人大分県薬剤師会、株式会社マルミヤストア、全日本空輸株式会社、全国共済農業協同組合連合会、株式会社別大興産、東京海上日動火災保険株式会社、第一生命保険株式会社、鬼塚電気工事株式会社、日本郵便株式会社、NTT 西日本株式会社、社会福祉法人わかば会清流の郷、株式会社ブンゴヤ薬局、株式会社スズキ、新星工業株式会社、日本赤十字社大分県支部、株式会社大鐵、トランスコスモス株式会社、社会福祉法人湯谷福祉会、第一交通産業株式会社、大分第一ホールディング株式会社、柳井電機工業株式会社、株式会社まるひで、株式会社JTB、株式会社太田旗店、平倉建設株式会社、明治安田生命保険相互会社、アドテック株式会社、株式会社三井住友銀行、有限会社ピーエムラボ、株式会社佐伯コミュニケーションズ、大和冷機工業株式会社、マルトウ物産販売株式会社、日杵運送株式会社、日本製鉄株式会社、日鉄テックスエンジニアリング株式会社、日鉄物流株式会社、山九株式会社、オリックス・ホテルマネジメント株式会社、FIG 株式会社、山志ヒロセ株式会社、生活協同組合コープおおいた、ジェイリース株式会社、株式会社四季祭

9 協力

大分県警察本部、陸上自衛隊第41普通科連隊、大分市交通指導員連合会、日本赤十字社大分県支部、大分県立芸術文化短期大学、別府重度障害者センター、社会医療法人恵愛会大分中村病院、医療法人社団唱和会明野中央病院、大分市医師会立アルメイダ病院、医療法人大場整形外科、大分県立病院、社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター、大分県パラスポーツ指導者協議会

10 日時

令和7年11月14日(金)
13時00分～18時00分 クラス分け (クラサドーム大分)
令和7年11月15日(土)
9時00分～12時00分 選手受付 (大分県庁舎本館)
(レンブラントホテル大分)
8時30分～13時00分 クラス分け (クラサドーム大分)
12時15分～13時15分 オープニングアトラクション
(ガレリア竹町ドーム広場)
14時00分～14時30分 開会式 (ガレリア竹町ドーム広場)
14時30分～15時00分 パレード
(ガレリア竹町ドーム広場⇄セントポルタ中央町)
15時00分～15時30分 有力選手記者会見
(ガレリア竹町ドーム広場)
令和7年11月16日(日)
8時00分～9時20分 手荷物・生活用車いすの受付
(大分市アートプラザ東側)
8時00分～9時20分 競技用車いすの検定、ロゴチェック
(荷場複合公共施設)
8時00分～9時25分 ウォームアップ (大分市役所周辺)
9時25分～9時45分 プレラインアップ (大分市役所周辺)
10時00分 マラソンスタート (大分県庁前)

10時05分 ハーフマラソンスタート (大分県庁前)
13時20分～ 閉会式(表彰式)(ジェイリーススタジアム)
18時30分～20時30分 交歓の夕べ (レンブラントホテル大分)

11 大会開催の基準等

大会中止基準及び緊急時の対応等は、「第44回大分国際車いすマラソン危機対応マニュアル」に基づき対応する。
なお、雨天時においても原則として競技を実施する。

12 実施種目及びコース

マラソン (42.195km)
大分市内 (国際陸上競技連盟/日本陸上競技連盟公認コース)
ハーフマラソン (21.0975km)
大分市内 (国際陸上競技連盟/日本陸上競技連盟公認コース)

13 参加資格

令和7年11月16日現在、満14歳以上の者で下記の条件を満たす者とする。

【マラソン】

- ①国内選手については、身体障害者手帳を所持する車いす使用者、かつ日本パラ陸上競技連盟に登録した者で、主催者が認定した者
- ②外国・地域選手については、車いす使用者、かつ各国の国際パラリンピック委員会に加盟した団体、又はそれに該当する団体に登録した者で、主催者が認定した者

【ハーフマラソン】

- ①国内選手については、身体障害者手帳を所持する車いす使用者で、主催者が認定した者
- ②外国・地域選手については、車いす使用者で、主催者が認定した者

14 参加料

マラソン10,000円、ハーフマラソン3,000円とする。

15 競技規則

World Para Athletics 競技規則 (大会開催日に適用となる最新のWPA 競技規則) 及び別に定める本大会競技注意事項等による。
参加するすべての選手に WPA 競技規則の広告に関する規程が適用される。

16 クラス分け

- (1)マラソン、ハーフマラソンとも、T51、T33/52、T34/53/54の3クラスに分ける。
- (2)クラス分けが必要な選手については、大会前日までにジェイリーススタジアムにおいて判定する。なお、この大会で行われるクラス分けは、日本国内では有効であるが、WPAの国際クラスとしては承認されるものではない。

17 ドーピング検査

本大会では、ドーピング検査を実施する。

18 表彰

- (1)マラソン・ハーフマラソンとも男女別・クラス別に1位から3位を表彰する。
- (2)マラソンにおいて一定以上の成績をあげた選手に対して、賞金を授与する。金額については、別に定める。
- (3)順位決定及び賞金の授与には、WPAにおける公認や選手登録の有無は影響しない。

19 申込方法

- 申込方法は以下のいずれかとする。
- ①公式ホームページの電子エントリーフォームによる申込み。
 - ②参加申込書に必要事項を明記し、顔写真2枚を添付の上、大会事務局あて郵送またはメールにて送付する(当日消印有効。なお、メールによる参加申込書の送付の場合は、顔写真の画像ファイルを1枚添付すればよい)。
- ※①、②ともに、参加申込みの締切は、令和7年7月31日(木)までとする。

20 競技中の事故

競技中の事故により負傷した場合、応急処置は主催者において実施するが、治療費は原則として選手の負担とする(健康保険証を持参すること)。

21 選手及び競技運営関係者を対象とする保険への加入

競技中の事故等に備え、主催者において、選手及びスタッフ等を対象とする保険に加入する。保険の内容については、別途示すこととする。

22 個人情報の取扱い

主催者及び大会事務局は個人情報保護に関する法令を遵守する。
なお、取得した個人情報は参加資格の審査、プログラム編成及び作成、応援チラシ等の印刷物の作成、報道機関からの問い合わせ、広報活動、記録発表並びにその他競技運営に必要な用途に限り利用する。

23 大会事務局

大会事務局は、大分県福祉保健部障害者社会参加推進室内、大分県障がい者スポーツ協会に置く。

所在地	〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号
電話番号	097-533-6006
FAX	097-506-1736
第44回大分国際車いすマラソン事務局メールアドレス	kurumaisu-marathon@pref.oita.lg.jp
第44回大分国際車いすマラソンホームページURL	www.kurumaisu-marathon.com

第44回大分国際車いすマラソン 危機対応マニュアル

I 趣旨

このマニュアルは、第44回大分国際車いすマラソンの中止基準及び緊急事態発生時の対応について、大会本部、関係者の対応に必要な事項を定めるものとする。

II 大会中止基準

- 大分地方気象台が、大分市に警報(大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、高潮)を発表したとき又は発表するおそれがあるとき。
- 県内で震度6弱以上の地震を観測し、大分県に災害対策本部が設置されたとき。
- 県内に津波警報(大津波)が発表され、大分県に災害対策本部が設置されたとき。
- その他の災害で大分県に災害対策本部が設置されたとき。
- コース上で大規模な事故、事件、火災、ガス漏れ、水道管破裂、道路陥没、停電等により、レース運営に支障を来す事案が発生したとき。
- 全国瞬時警報システム(Jアラート)が発令され安全確保ができないとき。
- 国内で大災害が発生したとき、又は社会的に大きな事件等大会の開催が困難となる事案が発生したとき。
- ただし、上記(1)~(7)の場合であっても、大会会長が実施可能と判断し、大会を開催する場合がある。

III 判断方法(レース前)

大会事務局により、下記の日程で開催検討会議を逐次実施し開催の可否について検討する。

なお、検討にあたっては、大会技術代表及び競技役員総務の意見を反映すること。

- レース7日前
- レース前日 午前10時
- レース当日 午前4時

最終決定は開催検討会議の結果をふまえ、大会会長が判断する。

IV 緊急事態発生時の対応

レース前日及びレース当日に緊急事態が発生し、又は発生するおそれがある場合は、大会本部及び関係者において、事態に対処するものとする。

(1)想定される緊急事態の種類

事象の態様	種別
自然災害	①風雨・落雷 ②地震 ③津波 ④噴火 ⑤その他大規模な災害
大規模な事件等	⑥弾道ミサイル発射 ⑦爆破 ⑧無差別テロ ⑨毒劇物散布(異臭騒ぎ含む) ⑩各事象の予告 ⑪不審物(者)の発見 ⑫パンデミック
大規模な事故	⑬爆発 ⑭火災 ⑮ガス漏れ ⑯水道管破裂 ⑰道路陥没 ⑱停電

(2)対応行動

緊急事態が発生した場合は、迅速かつ確に以下の措置を講ずる。

ア 大会関係者等への情報伝達と避難準備

大会本部は大会関係者等に対し、発生した緊急事態を正確に伝えるとともに、混乱をきたさないよう、場内放送、無線及び携帯電話による周知、大会協力者の口頭、その他あらゆる手段により、大会関係者等に対して周知を図り、必要に応じて避難準備等を促すものとする。

イ 選手及び観客への情報伝達と避難準備

緊急車両、最終通告車等によるアナウンス並びにコース付近での大会協力者の口頭など、その他あらゆる手段により選手及び観客に対して周知を図り、必要に応じて避難準備等を促すものとする。

ウ 救護活動

負傷者が発生した場合は、可能な範囲で身元確認に努めるとともに、安全な場所に誘導し、到着した消防(救急隊)に引き継ぐものとする。

エ 避難誘導及び残留者の確認

避難誘導に際しては、避難行動の支障となる物品を撤去し、安全確保対策を行うとともに、自らの行動に制約のある障がい者、乳幼児等、避難行動要支援者に配慮を行いながら、誘導するものとする。

なお、避難誘導中に負傷者又は逃げ遅れた者を発見した場合は、大会関係者が相互に連携し、救護又は誘導に努めるとともに、対応が不可能と判断した場合は、速やかに警察・消防に引き継ぐものとする。

オ スタート後のレース中止による選手の収容

コース上の選手を収容し、収容車ほかコース配置車両を総動員してジェイリーススタジアム又は大会本部が指定する場所に帰着させる。

第44回大分国際車いすマラソン競技注意事項

本大会は、World Para Athletics 競技規則(大会開催日に適用となる最新のWPA 競技規則)及び競技注意事項等により実施する。

■競技注意事項

- 本大会は、マラソン、ハーフマラソンを実施する。
- マラソンとハーフマラソンのスタートは、時間差スタートとし、時間差は5分とする。(男女共通)
- 競技者は、衣類及び車いすについて、WPA 競技規則の広告に關する規程を遵守しなければならない。
- 競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。
- 競技者は競技役員(許可)を得て、かつその監督下にある場合は、コースを離れたことにより走行距離が短くならないことを条件に示されたコースを離れることができる。
- 本大会では、種目(マラソン・ハーフマラソン)、クラス又は性別の異なる選手の背後を5m以内の距離で追走する行為(ドラフティング)を禁止する。
- 競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。
- 競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。ヘルメットは外殻が固く、保護性に優れ、国際安全基準(スネル規格 b-84/90/95、BSI6863、EN1078等)を満たしていなければならない。
- 競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員及び警察官による介助のみ受けられる。ただし、競技者に有利になるような介助は受けてはならない。
- 競技者における車いす修理の援助は、競技役員にかぎり許可するが、修理に必要な器具等の提供、貸与は行わない。
- 審判長または医師から中止を命じられた競技者は、直ちに競技を中止しなければならない。
- 競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならない。
- 競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面又はトラックに接触してはならない。
- クラス分けについては、別紙の国際クラス分け表による。
- 本大会では、ドーピング検査を実施する。
- 関門の制限時間を次のとおり設ける。

制限時間を越えた競技者は、関門に到達していても、直ちに収容車に収容する。

(マラソンの部)

- 第一関門(約3km) ……………20分00秒(10時20分00秒)
- 15km地点……………1時間00分00秒(11時00分00秒)
- 25km地点……………1時間45分00秒(11時45分00秒)
- 35km地点……………2時間25分00秒(12時25分00秒)
- フィニッシュ地点………3時間00分00秒(13時00分00秒)

(ハーフマラソンの部)

- 第一関門(約3km) ……………20分00秒(10時25分00秒)
- 10km地点……………1時間00分00秒(11時05分00秒)
- 15km地点……………1時間30分00秒(11時35分00秒)
- フィニッシュ地点………2時間15分00秒(12時20分00秒)

17 水の供給については、次のとおりとする。

- 給水所を次のとおり設ける。
 - マラソンの部……………7km(26km地点を兼ねる)、13km(31km地点を兼ねる)、18km(37km地点を兼ねる)地点付近
 - ハーフマラソンの部…7km、13km地点付近

(2) 主催者が用意するものは水だけとし、その他の飲料は用意しない。

(3) 競技者は、主催者が設けた各給水所以外で他人から飲食物やスポンジなどを受け取った場合は、失格とする。なお、主催者が設けた場所では、競技役員(許可)の介助を受けてもよい。

(4) 各給水所にて、競技者に対する霧吹きによる水の噴霧を行う。

希望する競技者は各給水所にて競技役員に申し出ることとし、噴霧は競技役員が行い、各給水所以外の場所では行わない。

18 車いすについては、次のとおりとする。

(1) 車いすは2つの大きな車輪と1つの小さな車輪から成るものとし、小さな車輪は、車いすの前方になければならない。

(2) すべての車いすは、安全の目的から、機能的な(制動制御)ブレーキシステムを備えていなければならない。

(3) 車いすのフレームのいかなる部分も前輪の車軸を超えて前方に突き出ているはならず、さらにフレームおよびその付属品の幅はリムの傾斜面より広くてはならない。車いすフレーム底部の地面からの高さは、50cm以内とする。

(4) 車いすのいかなる部分も後輪の最後部を結んだ垂直面から後方に突き出ているはならない。

(5) 後輪、前輪の直径は十分に空気を入れたタイヤを含んでそれぞれ70cm、50cmを超えてはならない。

(6) 各大輪には平らで円形のプッシュリムをただ1つ付けることができる。ただし、この規則は選手受付時に実施するクラス分けの結果と技術代表の判断があれば片腕で車いすを操作する競技者のためにこの規則を変更できる。

(7) 車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーも使用してはならない。

(8) トラック及び道路競技ではミラーの使用を禁止する。

(9) 機械的操縦装置は腕で操作するもののみ認める。

(10) 競技者は前輪を手動で左右に動かすことができなければならない。

(11) フェアリングの使用又は空気力学的な能力を向上させるように特別に設計された車いすやそれに類似した装置の使用は禁止する。

- (12) 車いすは招集場で測定を受ける。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始前または終了後に競技役員が再検査することがある。
- (13) 前述の全ての規則に従うのは競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。
- (14) 車いす後部に転倒防止を目的としたキャストの取り付けについて、ハーフマラソンに出場する T51クラスのみ、取り付けを認める。
- 19 アスリートビブス(旧ナンバーカード)について
アスリートビブスは配布された形で着用しなければならず、切ったり折りたたんだりあるいはいかなる方法でも見えなくしてはならないが、風通しをよくする目的で、文字や数字の部分避けて穴をあけることは可能とする。
- 20 撮影機器について
競技者は、競技区域内に小型カメラ、携帯電話等の撮影が可能な機器(静止画、動画問わず)を持ち込んでいい。競技区域内とは、ウォーミングアップ区域及びプレラインアップからフィニッシュエリア(芝生内)までの区域を指す。
- 21 下記については、助力行為とみなさずに許可する。
身体保護あるいは医療目的のあらゆる身体保護具。(包帯、絆創膏、ベルト、支持具、冷却機能付きリストバンド、携帯用酸素ボンベ等の呼吸器具)
競技者本人が携帯もしくは着用して使用する心拍計、速度・距離計、ストライドセンサー、その他類似的機器。ただし、他者との通信に使用不可能なものに限る。

(別紙) 国際クラス分け表

T51

このクラスの選手は通常、肘関節屈曲、手関節背屈の筋力がグレード5あり、肩関節の筋は筋力低下がみられ、特に大胸筋や上腕三頭筋の筋力はグレード0～3である。通常、体幹の筋力は機能しない。
肘関節の屈筋と、手関節の背屈筋を用いて駆動する。膝の上に顎を置いて、体幹を真っすぐにして座っている。脊髄損傷の神経残存レベルC5～6レベルと同等の活動制限がある。

T33/52

T33

四肢麻痺、三肢麻痺、重度の片麻痺—中等度(非対称性または対称性)の四肢麻痺、またはより機能の良い側の障害上肢にほぼ完全な筋力があり車いすを使用する重度の片麻痺。選手がより機能の良い側の障害上肢にほぼ完全な機能を持つ片麻痺か三肢麻痺の状態を呈しない限り、このクラスにアテトーゼの選手が含まれることは稀である。自立して車いすを推進することができる。

上肢—少なくとも障害のある上肢は伸展とフォロースルーの制限がある痙性グレード2の中等度の制限。障害のある手が円筒状と球状の握りを示すことがある。

体幹—車いすを力強くプッシュする時、前方への体幹の動きは、伸展痙性によってしばしば制限される。痙性グレードは2。

下肢—痙縮グレード3～4。いくつかの明らかな機能が、トランスファー時に観察することができる。介助または歩行支援用具を使って歩行ができるかもしれないが、短距離のみである。

T33とT34の違いは、車いす駆動時の体幹の動きと、手の機能が重要である。もしも、駆動動作時に、すばやい体幹運動を使うこと、または上肢運動の明らかな非対称性、もしくは握りとリリースに非常に貧しい能力を示した場合は、クラスT33である。

片上肢で車いすを駆動する場合、ロングストロークや素早い握り、リリースを行っていても、T33である。

T52

このクラスの選手は通常、肩・肘・手関節の筋力は正常である。手指屈伸筋力は手内筋の萎縮を伴って正常ではない。駆動には肩・肘・手関節を用いている。通常、体幹筋力は機能しない。T53、T54のクラスと同じようなグローブテクニックを用いる場合もある。脊髄損傷の神経残存レベルC7～8と同等の活動制限がある。

T34/53/54

T34

両麻痺—中等度から重度。上肢と体幹の障害(制限と問題)は最小限で機能は良好。

上肢—上肢は、多くの場合、正常の機能を示す。関節可動域の最小限の制限があるが、ほぼ正常なフォロースルーが可能で、投げたり、駆動もほぼ正常である。手の機能は正常で、すべてのスポーツで見られるように、つかみやすい握りが可能である。制限があるとすれば、早く細かい運動で見られる。両麻痺は上肢よりも下肢の方がより痙性が強い。痙性グレード1～2。手、上肢、体幹を機能的に動かすことが可能である。

体幹—痙縮グレード1～2。車いす駆動時の体幹の動きは最小限の制限。いくつかの選手は疲労で痙性が増強することもあるが、適切なポジショニングで克服することができる。立位時、バランスは補助器具を使用しても不良(poor)である。

下肢—中等度から重度。両下肢とも痙性グレードは3～4。通常、補助具を使用せずに長距離歩行はできない。車いすの駆動では長く、力強い駆動、素早い把持とリリースが可能である。しかし、手の細かい動きが影響を受けるかもしれない。駆動時に、これらの細かい動きは必須ではない。体幹の前方および後方の強い動きは、上肢のストロークをサポートしている。これらの体幹運動が起こらない場合には、体幹はバランスが取れており、上肢の動きのための安定性を提供している。車いすは曲線を走行する時、体幹はバランスを崩すことはない。

T53

このクラスの選手は、正常な上肢機能を持ち、腹筋と下部の背筋は機能しない。腹筋の機能を補うために、体幹を水平に近づけるといった様々なテクニックを用いる。一般的に加速の時には、体幹を下方に保持しておくための腹筋の機能がいないため体幹は膝から離れて起きる。駆動中、下方への自動的な体幹の運動はみられない。大抵の場合、代償機能を調整するために駆動サイクルは制限される。脊髄損傷の神経残存レベルT1～7と同等の活動制限がある。

T54

このクラスの選手は、正常な上肢筋力を持ち、体幹をコントロールする能力は部分的なものから正常までの幅を持っている。このグループの選手の中には有効な下肢の筋力を持っている選手もいることがある。リムに駆動の力が加えられた時に、体幹を下方に保持するための正常な体幹コントロールができる。大抵の場合、駆動時のサイクルはスムーズである。

車いす上で身体を起き上がらせ、回旋する筋力を加えることによって車いすの方向転換をすることができる。脊髄損傷の神経残存レベルT8～S4レベルと同等の活動制限がある。

(※) 上記は、日本版クラス分けマニュアルから抜粋したものであり内容が一部異なる場合があります。詳しくは、日本パラ陸上競技連盟ホームページにて最新版をご参照になるか、大会事務局までお問い合わせください。

<http://jaafd.org/contents/code/committee3>

【第44回大会役員】(Executive Committee Members)

大会会長	大分県知事		佐藤 樹一郎
副会長	大分県副知事		尾野 賢治
副会長	公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会	会長	森 和之
副会長	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟	会長	増田 明美
副会長	大分市長		足立 信也
副会長	大分合同新聞社	代表取締役社長	長野 景一
副会長	社会福祉法人大分県社会福祉協議会	会長	佐藤 章
副会長	大分県障がい者スポーツ協会	会長	佐藤 章
顧問	オムロン株式会社	代表取締役社長 CEO	辻 永順太
顧問	一般財団法人大分陸上競技協会	会長	小手川 強二
顧問	株式会社大分放送	代表取締役社長	猪俣 知三
顧問	大分県教育委員会	教育長	山田 雅文
顧問	大分市教育委員会	教育長	粟井 明彦
顧問	公益財団法人大分県スポーツ協会	会長	麻生 益直
顧問	一般社団法人大分県身体障害者福祉協会	会長	中村 謙助
顧問	社会福祉法人大分合同福祉事業団	理事長	長野 健
顧問	社会福祉法人太陽の家	理事長	山下 達夫
顧問	大分県警察本部	本部長	幡野 徹
顧問	陸上自衛隊第41普通科連隊	連隊長	井出 智昭
参与	大分県土木建築部	部長	小野 克也
参与	大分県警察本部 交通部	部長	後藤 和樹
参与	大分市土木建築部	部長	小野 晃正
参与	公益財団法人日本パラスポーツ協会	常務理事	藤原 正樹
参与	大分合同新聞社	取締役	児玉 真路
参与	別府重度障害者センター	所長	下山 敬寛
委員長	大分県福祉保健部	部長	首藤 丈彦
副委員長	大分市福祉保健部	部長	田崎 敢
副委員長	大分合同新聞社	執行役員マーケティング統括局長	池邊 泰治
副委員長	一般財団法人大分陸上競技協会	専務理事	羽田野 明美
委員	大分県教育庁	体育保健課長	吉野 賢一郎
委員	大分県警察本部交通部	交通規制課長	高倉 智勝
委員	大分県警察本部交通部	交通機動隊長	佐藤 修
委員	大分中央警察署	署長	萩尾 伸司
委員	大分東警察署	署長	亀岡 和茂
委員	大分市福祉保健部	障害福祉課長	柴田 哲明
委員	大分市企画部	スポーツ振興課長	姫野 暢之
委員	大分合同新聞社	営業部長	安藤 雅康
委員	株式会社大分放送	営業局長	森 永尚史
委員	一般財団法人大分陸上競技協会	総務委員長	小俣 秀之
委員	大分県パラスポーツ指導者協議会	会長	池部 純政
委員	別府重度障害者センター	運動療法士長	木畑 聡
委員	大分身体障害者陸上競技協会	会長	廣道 純
委員	通訳ボランティア Can-do	代表	後藤 恵子
委員	大分中村病院	理事長	中村 太郎
委員	社会福祉法人太陽の家	事務局長	佐藤 光博

【世界パラ陸上競技連盟】(World Para Athletics)

Technical Delegate (技術代表) 宮田 英明 (WPA 派遣)

【競技役員】(Race Officials)

(◎は主任)

総務	羽田野明美			
総務員	小俣 秀之	上杉 貴志	森 幹生	泥谷 和幸
	古庄 英之	町野 宏	石橋 壽利	
JPA - NTO	深澤まゆみ (JPA 派遣)	中深明日香 (JPA 派遣)	青田 修一 (JPA 派遣)	
	清水 俊夫 (JPA 派遣)			
技術総務	◎泥谷 和幸	町野 宏	石橋 壽利	
国際道路コース計測員	苅込 英昭 (JAAF 派遣)			
ジュリー	中島 剛 (JAP 派遣)	岡松 眞明	船越 武典	工藤 啓記
	廣末 敬 (JTOs)			
審判長	小俣 秀之 (マラソン)	原 俊介 (ハーフ)		
監察員	◎淵 俊伸 (監察車③)	渡邊 仙蔵 (監察車①)	小山 建 (監察車①)	森崎 宣和 (監察車②)
	仲摩 勝春 (監察車④)	杉本 和之 (監察車⑤)	金丸 和浩 (監察車⑥)	桑原 昇造 (監察車⑦)
	染矢 睦 (監察車⑧)	佐藤 敏郎 (監察車⑨)	井上 啓司 (監察車⑨)	
決勝審判員 (マラソン・ハーフ)	◎円本 宗秋	下城 重喜	赤木 康造	石井知由美
計時員 A	◎栗林 敏勝	油布 晋一		
計時員 B (マラソン・ハーフ)	◎西村 義弘	財津 廣記		
写真判定員	◎志賀 哲哉	三代 照良		
トランスポンダー	◎長野雄一郎			
スターター	◎田中 繁	瀧口登志朗		
記録員	◎中畑千恵子	(兼) 工藤 啓記	増村 栄彦	
報道係	◎大西 竜一	徳光 久	堤 紘一	竹丸由香里
競技者兼出発係	◎大成 千草 (マラソン)	坂本 智美	美登 泰彦	河野 富穂
	添田 順子	安東 寿子	近藤めぐみ	梶原 清美
	高司 悠佑	酒井 宏	下田 法子	戸曾遼太郎
	衛藤 憲一	吉田 研		
	◎小野 誠司 (ハーフ)	財津美紀夫	阿部 光佳	三橋 由里
	柳井 幸子	高森 京子	羽田 充輝	柳井 英里
	飛田 祥子			
海外競技者係	◎丸尾 直彦	衛藤 昭	長野由美子	徳谷 晃一
気象計測員	◎橋本 孝之	大成 忍	羽田野二郎	
役員係	◎安部 明美	藤井 宗隆	小間 敏子	内田 貞美
	河津 麻希			
マーシャル兼出発係	◎中野 明美	佐藤 慎司	中村 健治	西 親則
	清田 直孝	中野 実希	鈴木 麻里	
用器具係	◎櫻井 貢	柴山 廣	大戸 功雄	森本 秀治
収容者係	◎江藤 輝幸	日名子義生	三嶋 一哲	吉原誠一郎
医務係(医務班)	◎坂本真由美	工藤 武子	伊賀 弥生	中野 実咲
	梶原 進一			
医務係 (本部連絡・調整班)	◎田崎 弘宣	古庄 英之		
放送係	◎三代 寿子			
ドーピング コントロールオフィサー	JADA 派遣			
シャペロン	◎首藤 昭光	伊東 清信	日高 千紘	
医療統括責任者	松成 修 (社会医療法人)	恵愛会 大分中村病院 救急科部長)		
クラス分け委員	◎池部 純政	三浦 幸治	廣川 知子	横前 直樹
(JPA 派遣)	中田 淳一	安藤芽久美	山崎 直美	浅沼 満
	樋口みゆき			

関門役員

マラソン第一関門	◎小俣賢二郎	上久保 晃		
ハーフ第一関門	◎後藤 和久	瀧石 裕一		
マラソン 5 km	◎野田 浩	平山 勝治		
ハーフ 5 km	◎宅野 成喜	濱崎義日出		
第一・第三折返し点	◎大戸 貴博	藤田 義昭	神田康太郎	
マラソン 10 km	◎渡邊 和也	坂巻 諄	井上 達夫	
ハーフ 10 km	◎諸田 義信	後藤 信徳	川野 恵子	
ハーフ第二折返し点	◎竹内 邦弘	染矢 雄二	甲斐 正寿	
マラソン 15 km	◎甲斐 強	田川 紀明	川下喜代人	川上 愛佳
ハーフ 15 km	◎村西 栄二	後藤 信介	高瀬 政寛	
マラソン 20 km	◎吉川 正文	須磨 長愷	新宮 真二	高司浩一郎
ハーフ 20 km	◎明石 敦郎	渡邊 嵩仁	内藤 總	糸永 泉
マラソン中間点	◎鳥倉 秀聖	戸曾 正博		
マラソン 25 km	◎後藤 大輔	浅野佳代子	今永知栄美	大塚 尚輝
マラソン第二・第四折返し点	◎西山 祐一	鳴海きくみ	河津 智顕	後藤 賢也
マラソン 30 km	◎足立 達哉	東本 孝	立川三枝子	
マラソン 35 km	◎板井 新一	松浦 利美	奥下 美保	柴田 順子
マラソン 40 km	◎柴北 育昌	小野 千里	上久保陽子	工藤 早苗

給水係

7 km ・ 26 km	◎宮脇 清夫		
13 km ・ 31 km	◎横濱 正	津々見真一	矢幡 俊典
18 km ・ 36 km	◎猪俣正七郎	姫嶋 検次	
	◎武石 弘志	箕河原 幹	吉村 孝義

走路審判員

◎三上 忠明	◎宮川喜久生		
スタート地点付近	◎三上 忠明	後藤 博文	後藤 修一
	榎木野愛理	山口 美利	秦 卓司
	沖田 磨依	佐藤 公輝	佐藤 信浩
	椿 宗馬	仲築間美樹	
競技場内	(兼) 町野 宏	伊藤由紀子	山上 泰雅
農業会館南交差点付近	飯干 順一		
舞鶴橋西交差点・舞鶴橋	仲築間 寛	川崎 徹也	
舞鶴東交差点・中津留一丁目交差点	光延 慎一	曾我 公輔	
花津留一丁目交差点	佐藤 重康	重石 拓郎	
乗越交差点	甲斐 浩嗣	石原 悟稀	
平和市民公園先交差点	佐藤 陽子	酒井 響生	
西中浜交差点	仲摩 昇	長野 省吾	
運輸支局前交差点	竹野 晃輔	安東 美晴	
大洲運動公園入口交差点	熊谷 明	栗田 樹	野田 真央
	藤井亜希子		
ジェイリーススタジアム入口交差点	◎宮川喜久生	江頭 郁代	小林 臣将
	早田 駿希	姫野 敏郎	
中島十条交差点	松崎 安男	後藤こずえ	福田 悠莉
新川交差点	高司 龍二	江口 蓮	
浜町交差点	岩尾 雅弘	渡邊 利彦	
春日浦交差点	畑野 新司	岳尾 元勝	
王子町交差点	山田 義高		
王子折返し	倉野 浩成	高橋孝一郎	
日本製鉄正門交差点	首藤 知昭	後藤 敬	
三海橋 (ハーフ折返し)	木之下翔太	石原 咲哉	宮原 大地
三海橋東交差点	板井 朗		
三佐田交差点	松野 孝治		
家島橋手前 (マラソン折返し)	安心院久嗣	首藤 晴美	久保 裕治

走路審判補助員

◎山内 秀人	◎小野 覚	阿部美紀子	池田 秀信
スタート地点付近	岩本 照子	山根 義弘	小野あさ枝
	草野扶美子	佐藤 文男	匹田 忠
	竹繁 勇	竹繁 政江	後藤 裕
	宮崎 早苗	帆足 元夫	渡辺 朝則
	久々宮英輝	房前 秀治	山内 秀人
	小野 永寿	和田 一夫	森川 洋明

協力

公益財団法人 日本パラスポーツ協会公認 パラスポーツ指導員 (大分県パラスポーツ指導者協議会)

第44回大分国際車いすマラソンスケジュール

時刻	11月15日 (土)	11月16日 (日)
8:00		00 ウォームアップ開始
9:00	00 選手受付 (大分県庁舎本館) (レンブラントホテル)	25 選手プレラインアップ開始 35 交通規制開始 57 スタート地点ラインアップ完了
10:00	30 クラス分け (クラススドーム大分)	00 マラソンスタート 05 ハーフマラソンスタート
11:00		49 ハーフ トップフィニッシュ見込 18 マラソン トップフィニッシュ見込
12:00	00	20 ハーフ フィニッシュ地点閉鎖
13:00	15 オープニング アトラクション (ガレリア竹町 ドーム広場)	00 マラソン フィニッシュ地点閉鎖
	15	20 閉会式(表彰式) (ジェイリーススタジアム)
14:00	00 開会式 (ガレリア竹町ドーム広場)	20
	30	
	30 パレード (ガレリア竹町ドーム広場⇄セントポルタ中央町)	
15:00	00 有力選手記者会見 (ガレリア竹町ドーム広場)	
	30	
16:00		
17:00		
18:00		
19:00		30 交歓の夕べ (レンブラントホテル大分)
20:00		30
21:00		

開会式次第

令和7年11月15日(土) ガレリア竹町ドーム広場

時刻	式次第	備考
12:15	オープニングイベント	オープニングアトラクション「アートがつなぐちからーみんなで描く、インクルーシブな大分ー」
14:00	開式通告	ファンファーレ
14:01	大会会長あいさつ	大会会長 大分県知事 佐藤樹一郎
14:06	地元市長あいさつ	大会副会長 大分市長 足立信也
14:11	来賓あいさつ	スイス大使 ロジェ・ドゥバッハ
14:16	主催者・来賓紹介	
14:19	選手宣誓	中尾有沙
14:24	閉式通告	

スタート次第

令和7年11月16日(日) 大分県庁前

時刻	式次第	時刻	式次第
8:00	1 ウォームアップ開始	9:50	6 スタート地点選手誘導開始
9:25	2 ウォームアップ終了	9:57	7 選手ラインアップ完了
9:25	3 選手プレラインアップ開始	10:00	8 マラソンスタート
9:35	4 スタート地点交通規制開始	10:05	9 ハーフマラソンスタート
9:45	5 選手プレラインアップ完了		

閉会式次第

令和7年11月16日(日) ジェイリースタジアム

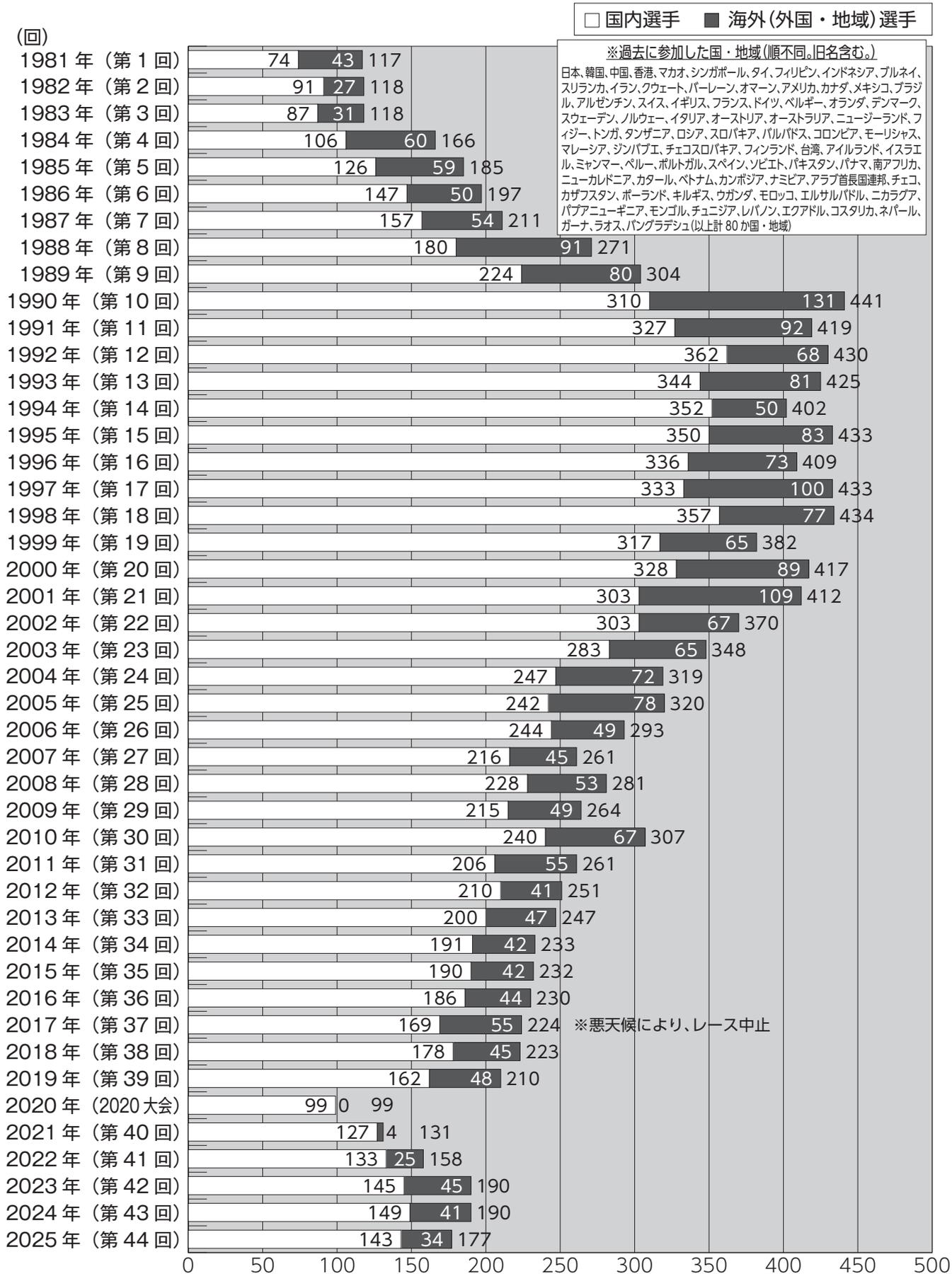
時刻	式次第	備考
13:20	開式通告	ファンファーレ
13:21	ハーフマラソン表彰 男子 T51 女子 T33/52 男子 T33/52 男子 T51 女子 T33/52 男子 T33/52	大会実行委員長 大分県福祉保健部長 首藤 文彦 大分県障がい者スポーツ協会 会長 佐藤 章 スイス賞 駐日スイス特命全権大使 ロジェ・ドゥバッハ
13:28	記念撮影	
13:30	女子 T34/53/54 スイス賞 男子 T34/53/54 スイス賞 男子オムロン賞 女子オムロン賞 三菱商事賞(新人賞)	(一社) 日本パラ陸上競技連盟 会長 増田 明美 陸上自衛隊 第41普通科連隊 連隊長 井出 智昭 オムロン株式会社 取締役 行本 閑人 三菱商事株式会社 代表取締役 常務執行役員 野島 嘉之
13:40	記念撮影	
13:44	マラソン表彰 男子 T51 女子 T33/52 男子 T33/52 中村裕賞 ソニー賞	(公財) 日本パラスポーツ協会 日本パラリンピック委員会 委員長 三阪 洋行 大分市長 足立 信也 中村裕パラスポーツサポートミーティング 篠原 彩 ソニーグループ株式会社 取締役代表執行役 社長 CEO 十時 裕樹
13:53	記念撮影	
13:57	女子 T34/53/54 中村裕賞 オムロン賞 ソニー賞 男子 T34/53/54 中村裕賞 オムロン賞 ソニー賞 男女 スポーツ庁長官賞 男女 デンソー賞 女子 新日本製薬賞	大分合同新聞社 取締役 児玉 真路 大会会長 大分県知事 佐藤 樹一郎
14:05	記念撮影	
14:08	大会会長あいさつ	大会会長 大分県知事 佐藤 樹一郎
14:15	閉式通告	
14:05	記念撮影	
14:08	大会会長あいさつ	大会会長 大分県知事 佐藤 樹一郎
14:15	閉式通告	

交歓の夕べ

令和7年11月16日(日) レンブラントホテル大分

時刻	式次第	備考
18:30	あいさつ・乾杯	
20:30まで	歓談	

参加者数の推移



※44回までの参加延べ人数[国内選手 9,917 人/海外(外国・地域)選手 2,626 人=合計 12,543 人](37回含む)

年/大会		国内									参加 都道府 県数
		ハーフマラソン			マラソン			合計			
		男	女	小計	男	女	小計	男	女		
1981年	第1回大会	72	2	74			0	72	2	74	14
1982年	第2回大会	86	5	91			0	86	5	91	19
1983年	第3回大会	42	4	46	40	1	41	82	5	87	22
1984年	第4回大会	60	2	62	41	3	44	101	5	106	26
1985年	第5回大会	79	2	81	44	1	45	123	3	126	27
1986年	第6回大会	91	5	96	49	2	51	140	7	147	25
1987年	第7回大会	84	4	88	66	3	69	150	7	157	29
1988年	第8回大会	101	7	108	71	1	72	172	8	180	26
1989年	第9回大会	117	13	130	92	2	94	209	15	224	36
1990年	第10回記念大会	155	20	175	130	5	135	285	25	310	41
1991年	第11回大会	173	19	192	130	5	135	303	24	327	41
1992年	第12回大会	199	23	222	136	4	140	335	27	362	43
1993年	第13回大会	183	15	198	143	3	146	326	18	344	43
1994年	第14回大会	186	14	200	148	4	152	334	18	352	43
1995年	第15回大会	176	10	186	161	3	164	337	13	350	43
1996年	第16回大会	164	10	174	160	2	162	324	12	336	44
1997年	第17回大会	168	15	183	147	3	150	315	18	333	43
1998年	第18回大会	173	16	189	165	3	168	338	19	357	43
1999年	第19回大会	165	15	180	134	3	137	299	18	317	42
2000年	第20回記念大会	172	16	188	136	4	140	308	20	328	40
2001年	第21回大会	162	15	177	122	4	126	284	19	303	40
2002年	第22回大会	162	15	177	123	3	126	285	18	303	41
2003年	第23回大会	161	12	173	104	6	110	265	18	283	37
2004年	第24回大会	131	11	142	101	4	105	232	15	247	39
2005年	第25回大会	123	14	137	103	2	105	226	16	242	39
2006年	第26回大会	146	13	159	83	2	85	229	15	244	39
2007年	第27回大会	128	12	140	73	3	76	201	15	216	36
2008年	第28回大会	136	14	150	76	2	78	212	16	228	38
2009年	第29回大会	136	11	147	66	2	68	202	13	215	37
2010年	第30回記念大会	144	13	157	81	2	83	225	15	240	37
2011年	第31回大会	128	7	135	68	3	71	196	10	206	37
2012年	第32回大会	134	7	141	64	5	69	198	12	210	37
2013年	第33回大会	131	10	141	55	4	59	186	14	200	37
2014年	第34回大会	128	11	139	49	3	52	177	14	191	32
2015年	第35回大会	133	12	145	43	2	45	176	14	190	32
2016年	第36回大会	141	11	152	33	1	34	174	12	186	31
2017年	第37回大会※	127	7	134	33	2	35	160	9	169	31
2018年	第38回大会	130	10	140	37	1	38	167	11	178	29
2019年	第39回大会	111	11	122	37	3	40	148	14	162	29
2020年	2020大会	73	4	77	20	2	22	93	6	99	23
2021年	第40回記念大会	94	9	103	23	1	24	117	10	127	26
2022年	第41回大会	101	10	111	20	2	22	121	12	133	30
2023年	第42回大会	98	14	112	31	2	33	129	16	145	29
2024年	第43回大会	100	15	115	31	3	34	131	18	149	30
2025年	第44回大会	88	15	103	35	5	40	123	20	143	31
大会合計		5,792	500	6,292	3,504	121	3,625	9,296	621	9,917	

※第37回大会は悪天候により、レース中止

年/大会		海外									海外参加国数
		ハーフマラソン			マラソン			合計			
		男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
1981年	第1回大会	38	5	43			0	38	5	43	13
1982年	第2回大会	24	3	27			0	24	3	27	12
1983年	第3回大会	14	1	15	14	2	16	28	3	31	13
1984年	第4回大会	25	3	28	26	6	32	51	9	60	21
1985年	第5回大会	33	5	38	20	1	21	53	6	59	19
1986年	第6回大会	24	3	27	20	3	23	44	6	50	18
1987年	第7回大会	22	3	25	25	4	29	47	7	54	19
1988年	第8回大会	44	14	58	31	2	33	75	16	91	30
1989年	第9回大会	30	14	44	34	2	36	64	16	80	24
1990年	第10回記念大会	43	17	60	65	6	71	108	23	131	36
1991年	第11回大会	43	8	51	38	3	41	81	11	92	32
1992年	第12回大会	33	7	40	26	2	28	59	9	68	29
1993年	第13回大会	43	3	46	32	3	35	75	6	81	31
1994年	第14回大会	26	5	31	17	2	19	43	7	50	26
1995年	第15回大会	39	10	49	31	3	34	70	13	83	41
1996年	第16回大会	33	8	41	30	2	32	63	10	73	32
1997年	第17回大会	40	8	48	46	6	52	86	14	100	27
1998年	第18回大会	31	9	40	32	5	37	63	14	77	26
1999年	第19回大会	31	3	34	30	1	31	61	4	65	25
2000年	第20回記念大会	47	7	54	28	7	35	75	14	89	29
2001年	第21回大会	49	6	55	46	8	54	95	14	109	27
2002年	第22回大会	26	5	31	33	3	36	59	8	67	26
2003年	第23回大会	21	3	24	36	5	41	57	8	65	19
2004年	第24回大会	24	8	32	36	4	40	60	12	72	17
2005年	第25回大会	26	9	35	40	3	43	66	12	78	19
2006年	第26回大会	16	5	21	24	4	28	40	9	49	15
2007年	第27回大会	14	2	16	25	4	29	39	6	45	14
2008年	第28回大会	15	1	16	30	7	37	45	8	53	14
2009年	第29回大会	16	2	18	28	3	31	44	5	49	15
2010年	第30回記念大会	22	3	25	38	4	42	60	7	67	19
2011年	第31回大会	16	2	18	32	5	37	48	7	55	15
2012年	第32回大会	12	2	14	24	3	27	36	5	41	13
2013年	第33回大会	12	3	15	27	5	32	39	8	47	15
2014年	第34回大会	8	5	13	25	4	29	33	9	42	13
2015年	第35回大会	8	2	10	27	5	32	35	7	42	14
2016年	第36回大会	19	2	21	19	4	23	38	6	44	14
2017年	第37回大会※	14	7	21	25	9	34	39	16	55	15
2018年	第38回大会	13	2	15	23	7	30	36	9	45	15
2019年	第39回大会	7	1	8	34	6	40	41	7	48	18
2020年	2020大会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
2021年	第40回記念大会	1	0	1	2	1	3	3	1	4	3
2022年	第41回大会	6	0	6	16	3	19	22	3	25	12
2023年	第42回大会	13	2	15	23	7	30	36	9	45	15
2024年	第43回大会	13	0	13	23	5	28	36	5	41	12
2025年	第44回大会	13	1	14	17	3	20	30	4	34	13
大会合計		1,057	209	1,256	1,198	172	1,370	2,245	381	2,626	

※第37回大会は悪天候により、レース中止

年/大会		合 計									参加 国数	協賛 スポン サー
		ハーフマラソン			マラソン			合計				
		男	女	小計	男	女	小計	男	女			
1981年	第1回大会	110	7	117	0	0	0	110	7	117	14	3(3)
1982年	第2回大会	110	8	118	0	0	0	110	8	118	13	1(0)
1983年	第3回大会	56	5	61	54	3	57	110	8	118	14	1(0)
1984年	第4回大会	85	5	90	67	9	76	152	14	166	22	4(3)
1985年	第5回大会	112	7	119	64	2	66	176	9	185	20	4(1)
1986年	第6回大会	115	8	123	69	5	74	184	13	197	19	2(0)
1987年	第7回大会	106	7	113	91	7	98	197	14	211	20	3(0)
1988年	第8回大会	145	21	166	102	3	105	247	24	271	31	9(5)
1989年	第9回大会	147	27	174	126	4	130	273	31	304	25	6(0)
1990年	第10回記念大会	198	37	235	195	11	206	393	48	441	37	13(7)
1991年	第11回大会	216	27	243	168	8	176	384	35	419	33	17(4)
1992年	第12回大会	232	30	262	162	6	168	394	36	430	30	17(0)
1993年	第13回大会	226	18	244	175	6	181	401	24	425	32	18(2)
1994年	第14回大会	212	19	231	165	6	171	377	25	402	27	18(1)
1995年	第15回大会	215	20	235	192	6	198	407	26	433	42	20(2)
1996年	第16回大会	197	18	215	190	4	194	387	22	409	33	22(2)
1997年	第17回大会	208	23	231	193	9	202	401	32	433	28	22(2)
1998年	第18回大会	204	25	229	197	8	205	401	33	434	27	21(0)
1999年	第19回大会	196	18	214	164	4	168	360	22	382	26	22(1)
2000年	第20回記念大会	219	23	242	164	11	175	383	34	417	30	24(1)
2001年	第21回大会	211	21	232	168	12	180	379	33	412	28	24(1)
2002年	第22回大会	188	20	208	156	6	162	344	26	370	27	22(0)
2003年	第23回大会	182	15	197	140	11	151	322	26	348	20	19(0)
2004年	第24回大会	155	19	174	137	8	145	292	27	319	18	16(0)
2005年	第25回大会	149	23	172	143	5	148	292	28	320	20	16(2)
2006年	第26回大会	162	18	180	107	6	113	269	24	293	16	17(3)
2007年	第27回大会	142	14	156	98	7	105	240	21	261	15	17(1)
2008年	第28回大会	151	15	166	106	9	115	257	24	281	15	18(1)
2009年	第29回大会	152	13	165	94	5	99	246	18	264	16	14(0)
2010年	第30回記念大会	166	16	182	119	6	125	285	22	307	20	18(4)
2011年	第31回大会	144	9	153	100	8	108	244	17	261	16	17(0)
2012年	第32回大会	146	9	155	88	8	96	234	17	251	14	17(1)
2013年	第33回大会	143	13	156	82	9	91	225	22	247	16	17(0)
2014年	第34回大会	136	16	152	74	7	81	210	23	233	14	19(2)
2015年	第35回大会	141	14	155	70	7	77	211	21	232	15	22(3)
2016年	第36回大会	160	13	173	52	5	57	212	18	230	15	26(5)
2017年	第37回大会※	141	14	155	58	11	69	199	25	224	16	26(2)
2018年	第38回大会	143	12	155	60	8	68	203	20	223	16	33(10)
2019年	第39回大会	118	12	130	71	9	80	189	21	210	19	36(7)
2020年	2020大会	73	4	77	20	2	22	93	6	99	1	31(1)
2021年	第40回記念大会	95	9	104	25	2	27	120	11	131	4	40(7)
2022年	第41回大会	107	10	117	36	5	41	143	15	158	13	45(7)
2023年	第42回大会	111	16	127	54	9	63	165	25	190	16	51(9)
2024年	第43回大会	113	15	128	54	8	62	167	23	190	13	52(5)
2025年	第44回大会	101	16	117	52	8	60	153	24	177	14	59(12)
大会合計		6,839	709	7,548	4,702	293	4,995	11,541	1,002	12,543		※(うち新規)

※第37回大会は悪天候により、レース中止

歴代優勝者とその記録

★世界記録 *大会記録

	マラソン				ハーフマラソン			
	男		女		男		女	
	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位
第1回	—	—	—	—	ゲオルグ・フロイント オーストリア 1° 01' 46"	宇田津 幸男 大阪府 1° 12' 42"	マーシャ・ビバード アメリカ 1° 21' 43"	中村 広美 鹿児島県 1° 45' 20"
第2回	—	—	—	—	リック・ハンセン カナダ 58' 30"	松井 順一 長野県 1° 08' 05"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1° 13' 26"	坂元 りつ子 大阪府 1° 35' 56"
第3回	グルコル・ゴロンバック 西ドイツ 2° 07' 54"	山本 行文 大分県 2° 22' 20"	キャンデス・ケイブル アメリカ 2° 35' 48"	—	ポール・ファン・ウィンクル ベルギー 1° 05' 24"	永尾 嘉章 兵庫県 1° 17' 57"	幸塚 直子 石川県 1° 27' 53"	—
第4回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 48' 25"	山本 行文 大分県 2° 00' 47"	キャンデス・ケイブル アメリカ 2° 21' 09"	幸塚 直子 石川県 2° 38' 14"	マリヤ・アル・オタビ クウェート 58' 33"	永尾 嘉章 兵庫県 1° 06' 33"	ピン・チョー 香港 1° 21' 28"	岩田 いつ子 愛知県 1° 27' 24"
第5回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 49' 46"	山本 行文 大分県 2° 00' 48"	ガブリエル・シルト スイス 2° 46' 42"	—	カエテ・ワシキ メキシコ 59' 39"	宮居 昌彦 和歌山県 1° 07' 36"	シャロン・フレネット アメリカ 1° 14' 58"	多智 利枝 東京都 1° 24' 35"
第6回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 45' 36"	山本 行文 熊本県 1° 50' 05"	アンジェラ・イリチ カナダ 1° 58' 51"	多智 利枝 東京都 3° 02' 16"	林 誠二 大阪府 1° 00' 47"	—	カレン・ウィルソン イギリス 1° 20' 38"	岩田 いつ子 愛知県 1° 22' 51"
第7回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 44' 18"	山本 行文 熊本県 1° 53' 36"	アンジェラ・イリチ カナダ 2° 04' 31"	岩田 いつ子 愛知県 2° 42' 22"	サウル・メンドーサ メキシコ 56' 20"	伊藤 平太 佐賀県 1° 02' 16"	坂内 留美 東京都 1° 19' 09"	—
第8回	ポール・クラーク カナダ 1° 38' 27"	山本 行文 熊本県 1° 42' 42"	コニー・ハンセン デンマーク 2° 05' 28"	—	マヌエル・カサス メキシコ 55' 22"	竹村 克明 埼玉県 1° 04' 06"	イヴリッド・オリッピン デンマーク 1° 09' 20"	坂内 留美 東京都 1° 15' 40"
第9回	ムスタファ・パディ フランス 1° 40' 45"	山本 行文 熊本県 1° 43' 21"	ジャンネット・ジャンセン オランダ 1° 48' 45"	坂内 留美 東京都 2° 49' 09"	ラジャ・シン シンガポール 52' 58"	山田 和宏 岡山県 1° 01' 58"	イヴリッド・オリッピン デンマーク 58' 57"	畑中 和 兵庫県 1° 06' 45"
第10回	ハインツ・フライ スイス 1° 39' 35"	山口 悟志 大阪府 1° 47' 07"	ジャンネット・ジャンセン オランダ 1° 47' 09"	長谷川 尚美 兵庫県 1° 51' 31"	ロベルト・フィグル ドイツ 48' 26"	須田 伸太郎 山形県 57' 06"	ディアンナ・ソドマ アメリカ 1° 00' 03"	伊藤 由美 東京都 1° 07' 10"
第11回	ハインツ・フライ スイス 1° 35' 46"	川島 誉 和歌山県 1° 45' 44"	コニー・ハンセン デンマーク 1° 47' 45"	畑中 和 兵庫県 2° 02' 10"	サウル・メンドーサ メキシコ 49' 42"	中田 達也 京都府 55' 19"	イヴリッド・オリッピン デンマーク 1° 01' 54"	伊藤 由美 東京都 1° 07' 49"
第12回	クリスチン・スチャポート 南アフリカ 1° 35' 47"	山本 行文 熊本県 1° 43' 29"	リリー・アングレニー ドイツ 1° 48' 35"	畑中 和 兵庫県 1° 54' 28"	ジェイク・ベルヴェイル アメリカ 53' 47"	山見 誠治 福岡県 53' 47"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 57' 06"	藤原 志保 静岡県 1° 06' 24"
第13回	ハインツ・フライ スイス 1° 34' 35"	中村 博之 大阪府 1° 39' 56"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1° 52' 06"	畑中 和 兵庫県 1° 56' 34"	ホルヘ・ルヤ・セバダ メキシコ 47' 04"	野沢 英二 青森県 50' 32"	南野 教子 福岡県 1° 08' 02"	—
第14回	ハインツ・フライ スイス 1° 30' 54"	室塚 一也 北海道 1° 39' 09"	ジャンタル・ブティック カナダ 2° 01' 58"	南野 教子 福岡県 2° 27' 35"	ジム・C・マーティンソン アメリカ 48' 07"	野沢 英二 青森県 53' 05"	ドラ・カリア・イストラダ メキシコ 1° 05' 14"	藤原 志保 静岡県 1° 07' 52"
第15回	ハインツ・フライ スイス 1° 22' 38"	室塚 一也 北海道 1° 30' 54"	畑中 和 兵庫県 1° 44' 36"	—	エリック・ナイツェル アメリカ 46' 32"	野沢 英二 青森県 49' 59"	コニー・ハンセン デンマーク 55' 19"	櫻田 陽子 神奈川県 59' 05"
第16回	ハインツ・フライ スイス 1° 24' 24"	廣道 純 兵庫県 1° 31' 12"	ルース・サヴァージュ オーストラリア 1° 45' 03"	畑中 和 兵庫県 1° 48' 08"	エリック・ナイツェル アメリカ 47' 12"	西田 聡 長崎県 47' 16"	土田 和歌子 東京都 55' 30"	—
第17回	ハインツ・フライ スイス 1° 24' 49"	室塚 一也 北海道 1° 31' 34"	畑中 和 兵庫県 1° 39' 40"	—	アロン・ゴルディア メキシコ 45' 57"	野沢 英二 青森県 51' 41"	奥山 京子 山形県 54' 40"	—
第18回	ハインツ・フライ スイス 1° 26' 55"	室塚 一也 北海道 1° 30' 51"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1° 51' 36"	土田 和歌子 東京都 1° 56' 34"	エクトル・エルナンデス メキシコ 46' 37"	渡辺 幹司 大分県 46' 40"	リアデン・エルナンデス メキシコ 56' 16"	高良 依子 沖縄県 1° 00' 01"
第19回	ハインツ・フライ スイス 1° 20' 14"	室塚 一也 北海道 1° 31' 55"	畑中 和 兵庫県 1° 44' 31"	—	藤川 泰博 兵庫県 46' 50"	—	グニラ・ワングレン スウェーデン 51' 30"	川島 由美 愛知県 57' 09"
第20回	ハインツ・フライ スイス 1° 22' 03"	室塚 一也 北海道 1° 30' 32"	畑中 和 兵庫県 1° 42' 53"	—	エクトル・エルナンデス メキシコ 46' 40"	藤田 英二 山口県 46' 41"	土田 和歌子 東京都 *49' 36"	—
第21回	ハインツ・フライ スイス 1° 22' 20"	廣道 純 大分県 1° 29' 38"	土田 和歌子 東京都 1° 38' 32"	—	渡辺 習輔 大分県 45' 01"	—	長澤 麻子 山梨県 1° 02' 16"	—
第22回	ハインツ・フライ スイス 1° 25' 46"	廣道 純 大分県 1° 30' 20"	土田 和歌子 東京都 1° 44' 39"	—	ポール・ナナリー オーストラリア 47' 04"	寒川 進 京都府 47' 05"	ジェニー・ルンドブラッド スウェーデン *58' 03"	小峯 直美 東京都 1° 03' 30"
第23回	ジョエル・ジャン フランス 1° 25' 43"	カソガリ・ワシコフ 大分県 1° 29' 59"	土田 和歌子 東京都 1° 40' 01"	—	渡辺 習輔 大分県 44' 37"	—	ジェニー・ルンドブラッド スウェーデン 1° 00' 59"	小峯 直美 愛知県 1° 03' 16"

歴代優勝者とその記録

マラソン

★世界記録 *大会記録

	男子			女子		
	T 51	T 52	T 53/54	T 51	T 52	T 53/54
第24回	完走者なし	吉本 茂 長野県 2° 04' 07"	エルスト・ヴァン ダイク 南アフリカ 1° 28' 03"	出走者なし	リサ・マリー・フランス カナダ 2° 10' 27"	ダイアン・ロイ カナダ 1° 52' 25"
第25回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 39' 46"	伊藤 智也 三重県 2° 00' 02"	エルスト・ヴァン ダイク 南アフリカ 1° 26' 37"	出走者なし	八巻 智美 福島県 2° 19' 36"	ダイアン・ロイ カナダ 1° 46' 07"
第26回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 36' 24"	伊藤 智也 三重県 1° 52' 36"	笹原 廣喜 大分県 1° 24' 15"	出走者なし	八巻 智美 福島県 2° 17' 49"	畑中 和 兵庫県 1° 39' 28"
第27回	ハインリッヒ・クーペル ドイツ 2° 40' 09"	サンティアゴ・サンツ スペイン * 1° 43' 46"	エルスト・ヴァン ダイク 南アフリカ 1° 23' 22"	出走者なし	八巻 智美 福島県 2° 09' 50"	土田 和歌子 東京都 1° 38' 55"
第28回	完走者なし	上与那原 寛和 沖縄県 1° 47' 17"	ハインツ・フライ スイス 1° 26' 06"	出走者なし	八巻 智美 福島県 ★2° 07' 28"	アマダ・マグローリー アメリカ 1° 43' 33"
第29回	完走者なし	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 47' 37"	ハインツ・フライ スイス 1° 25' 46"	出走者なし	ミシェル・ステイウェル カナダ 2° 21' 16"	土田 和歌子 東京都 1° 39' 35"

	男子			女子		
	T 51	T 33/52	T 34/53/54	T 51	T 33/52	T 34/53/54
第30回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 32' 36"	上与那原 寛和 沖縄県 1° 50' 22"	マルセル・フグ スイス 1° 23' 28"	出走者なし	ミシェル・ステイウェル カナダ 2° 30' 52"	アマダ・マグローリー アメリカ 1° 44' 38"
第31回	完走者なし	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 50' 25"	マルセル・フグ スイス 1° 24' 55"	出走者なし	出走者なし	サンドラ・グラフ スイス 1° 45' 37"
第32回	井上 聡 愛媛県 2° 59' 13"	高田 稔浩 福井県 2° 00' 05"	マルセル・フグ スイス 1° 25' 08"	出走者なし	出走者なし	土田 和歌子 東京都 1° 43' 10"
第33回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 37' 15"	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 46' 09"	マルセル・フグ スイス 1° 23' 49"	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャース スイス 1° 38' 07"
第34回	完走者なし	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 47' 29"	マルセル・フグ スイス 1° 21' 40"	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャース スイス 1° 38' 42"
第35回	ピーター・ドゥ・プレア 南アフリカ 2° 39' 52"	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 48' 01"	マルセル・フグ スイス 1° 24' 53"	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャース スイス 1° 40' 46"
第36回	ピーター・ドゥ・プレア 南アフリカ 2° 30' 53"	佐藤 友祈 岡山県 1° 49' 32"	山本 浩之 福岡県 1° 26' 02"	出走者なし	出走者なし	喜納 翼 沖縄県 1° 44' 56"
第37回	悪天候により、レース中止					
第38回	ピーター・ドゥ・プレア 南アフリカ 2° 37' 06"	佐藤 友祈 岡山県 1° 47' 57"	マルセル・フグ スイス 1° 23' 59"	出走者なし	出走者なし	喜納 翼 沖縄県 1° 39' 36"
第39回	ピーター・ドゥ・プレア 南アフリカ 2° 27' 07"	上与那原 寛和 沖縄県 1° 53' 04"	マルセル・フグ スイス 1° 22' 51"	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャース スイス 1° 35' 42"
2020	出走者なし	佐藤 友祈 岡山県 1° 49' 29"	鈴木 朋樹 東京都 1° 22' 02"	出走者なし	出走者なし	土田 和歌子 東京都 1° 39' 42"
第40回	ピーター・ドゥ・プレア 南アフリカ 2° 34' 30"	佐藤 友祈 岡山県 1° 50' 19"	マルセル・フグ スイス ★1° 17' 47"	出走者なし	出走者なし	喜納 翼 沖縄県 1° 40' 13"
第41回	ピーター・ドゥ・プレア 南アフリカ ★2° 22' 33"	佐藤 友祈 岡山県 1° 49' 57"	マルセル・フグ スイス 1° 21' 10"	出走者なし	出走者なし	土田 和歌子 東京都 1° 37' 59"
第42回	ピーター・ドゥ・プレア 南アフリカ 2° 31' 07"	上与那原 寛和 沖縄県 1° 54' 30"	マルセル・フグ スイス 1° 17' 51"	出走者なし	出走者なし	カテリーヌ・デルナー スイス * 1° 35' 11"
第43回	ピーター・ドゥ・プレア 南アフリカ 2° 34' 37"	伊藤 竜也 福井県 1° 55' 37"	金 華 中国 1° 18' 31"	出走者なし	出走者なし	カテリーヌ・デルナー スイス 1° 36' 49"
第44回	ピーター・ドゥ・プレア 南アフリカ 2° 33' 19"	上与那原 寛和 沖縄県 1° 50' 05"	マルセル・フグ スイス 1° 17' 51"	出走者なし	完走者なし	マニュエラ・シャース スイス 1° 38' 55"

歴代優勝者とその記録

ハーフマラソン

*大会記録

	男子			女子		
	T51	T52	T53/54	T51	T52	T53/54
第24回	濱添 要 大分県 1° 49' 31"	吉野 真旨 兵庫県 1° 07' 04"	渡辺 習輔 大分県 46' 05"	出走者なし	クリステン・メサー アメリカ 2° 07' 16"	川島 由美 兵庫県 54' 33"
第25回	濱添 要 長崎県 1° 34' 05"	森島 英樹 兵庫県 1° 11' 16"	渡辺 習輔 大分県 47' 17"	完走者なし	要田 美紀 東京都 1° 16' 16"	川島 由美 兵庫県 54' 56"
第26回	濱添 要 長崎県 1° 32' 51"	上与那原 寛和 沖縄県 53' 59"	吉田 高志 大分県 45' 06"	完走者なし	要田 美紀 東京都 1° 13' 29"	リユー・ウェン・ユン 中国 53' 55"
第27回	濱添 要 長崎県 1° 32' 56"	森島 英樹 兵庫県 1° 05' 53"	吉田 高志 大分県 45' 24"	完走者なし	佐藤 由加 岡山県 1° 12' 57"	宮本 美紀 岡山県 1° 00' 55"
第28回	濱添 要 長崎県 1° 36' 26"	浜上 悟 石川県 1° 04' 00"	渡辺 習輔 大分県 46' 51"	完走者なし	佐藤 由加 岡山県 1° 12' 37"	高峯 瑞喜 東京都 1° 02' 12"
第29回	濱添 要 長崎県 1° 36' 29"	松本 直幸 福岡県 1° 07' 38"	西原 宏明 京都府 45' 21"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 11' 58"	リユー・ウェン・ユン 中国 55' 17"

	男子			女子			新人賞
	T51	T33/52	T34/53/54	T51	T33/52	T34/53/54	
第30回	濱添 要 長崎県 1° 31' 31"	佐藤 仁志 岡山県 1° 10' 14"	渡辺 習輔 大分県 45' 11"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 12' 11"	マニユエラ・シャースイス 54' 33"	
第31回	ケビン・ストークス アメリカ 1° 30' 46"	デュアン・モロー アメリカ 1° 06' 31"	リチャード・コールマン オーストラリア 48' 10"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 10' 16"	マニユエラ・シャースイス 56' 58"	
第32回	長崎 裕也 東京都 1° 36' 01"	野田 昭和 鳥取県 56' 49"	佐矢野 利明 大分県 46' 46"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 08' 10"	ローズマリー・リトル オーストラリア 57' 22"	
第33回	平山 健悟 福岡県 1° 44' 42"	野田 昭和 鳥取県 55' 41"	ピエール・フェアバンク フランス 45' 05"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 10' 10"	ローズマリー・リトル オーストラリア 58' 44"	渡辺 勝 福岡県 46' 10"
第34回	清田 慎也 熊本県 1° 37' 40"	佐藤 友祈 静岡県 53' 10"	松永 仁志 岡山県 46' 35"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 09' 54"	ローズマリー・リトル オーストラリア 53' 11"	河室 隆一 大分県 50' 33"
第35回	清田 慎也 熊本県 1° 28' 53"	野田 昭和 鳥取県 53' 41"	渡辺 勝 福岡県 47' 32"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 12' 54"	中山 和美 神奈川県 53' 11"	田中 祥隆 福岡県 52' 29"
第36回	エルネスト・フォンセカ コスタリカ 1° 25' 11"	野田 昭和 鳥取県 56' 44"	渡辺 勝 福岡県 43' 46"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 11' 14"	リユー・ウェンユン 中国 52' 05"	武村 浩生 福岡県 50' 52"
第37回	悪天候により、レース中止						
第38回	清田 慎也 熊本県 1° 24' 48"	野田 昭和 鳥取県 53' 50"	百武 強士 佐賀県 46' 11"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 11' 52"	中山 和美 神奈川県 52' 59"	生馬 知季 岡山県 46' 21"
第39回	井上 聡 愛媛県 1° 27' 22"	野田 昭和 鳥取県 55' 46"	サミュエル・リゾ オーストラリア 46' 35"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 17' 49"	見崎 真未 熊本県 1° 15' 37"	岸澤 宏樹 大阪府 48' 31"
2020	出走者なし	伊藤 竜也 福井県 57' 48"	久保 恒造 北海道 43' 42"	出走者なし	片平 留依 福岡県 1° 45' 35"	安川 祐里香 沖縄県 57' 36"	仲泊 厚志 沖縄県 49' 01"
第40回	出走者なし	伊藤 竜也 福井県 56' 00"	生馬 知季 岡山県 44' 43"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 16' 33"	安川 祐里香 沖縄県 58' 22"	
第41回	清田 慎也 熊本県 1° 31' 48"	伊藤 竜也 福井県 55' 54"	生馬 知季 岡山県 45' 32"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 19' 59"	村岡 桃佳 岡山県 54' 10"	
第42回	長崎 裕也 東京都 1° 42' 09"	伊藤 竜也 福井県 *52' 47"	生馬 知季 岡山県 *43' 05"	出走者なし	田中 照代 愛知県 1° 15' 15"	村岡 桃佳 岡山県 52' 01"	
第43回	井上 聡 愛媛県 1° 38' 28"	松本 直幸 福岡県 1° 02' 05"	生馬 知季 岡山県 44' 04"	出走者なし	西村 柚菜 静岡県 1° 11' 28"	中尾 有沙 熊本県 56' 23"	
第44回	清田 慎也 熊本県 1° 38' 56"	寺島 正樹 福井県 57' 18"	久保 恒造 北海道 44' 09"	出走者なし	田中 照代 愛知県 1° 14' 18"	中尾 有沙 熊本県 59' 21"	

協力者名簿

大分県警察本部	陸上自衛隊別府駐屯地第41普通科連隊
大分市交通指導員連合会	大分市消防局
大分土木事務所	別府土木事務所
大分市役所	日本赤十字社大分県支部
独立行政法人国立病院機構別府医療センター	社会医療法人恵愛会大分中村病院
医療法人社団唱和会明野中央病院	大分市医師会立アルメイダ病院
医療法人大場整形外科	社会医療法人三愛会大分三愛メディカルセンター
独立行政法人国立病院機構大分医療センター	医療法人尚成会近間病院
世界パラ陸上競技連盟	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟
公益財団法人日本陸上競技連盟	一般財団法人大分陸上競技協会
大分走ろう会	大分県パラスポーツ指導者協議会
株式会社トキハ	大分県信用組合
株式会社豊和銀行	大分みらい信用金庫
千代田商事株式会社	九州労働金庫大分県本部
大分航空ターミナル株式会社	株式会社レンブランドホテル大分
祖峰企画株式会社	株式会社菅組
ダイワロイネットホテル大分	サントリーホールディングス株式会社
大分県共同募金会	日本生命保険相互会社
近藤晴彦	
大分国際車いすマラソン通訳ボランティア Can-do	オムロン株式会社
ソニーグループ株式会社	本田技研工業株式会社
三菱商事株式会社	株式会社デンソー
エフサステクノロジーズ株式会社	新日本製薬株式会社
株式会社クラフティア	九州電力株式会社
キヤノン株式会社	ジブラルタ生命保険株式会社
清水建設株式会社	全日本空輸株式会社
全国共済農業協同組合連合会	東京海上日動火災保険株式会社
第一生命保険株式会社	鬼塚電気工事株式会社
NTT 西日本株式会社	株式会社ブンゴヤ薬局
トランスコスモス株式会社	明治安田生命保険相互会社
株式会社三井住友銀行	山九株式会社
FIG 株式会社	株式会社アズメディック
イオン九州株式会社	プルデンシャル生命株式会社
連合大分中部地域協議会	大分県ボランティア・市民活動センター
大分県立芸術文化短期大学	学校法人平松学園大分リハビリテーション専門学校
学校法人平松学園大分東明高等学校	学校法人後藤学園楊志館高等学校
学校法人岩田学園岩田高等学校	障がい者スポーツサポーターの皆さま
ジェイリースタジアム（大分市営陸上競技場）	クラサスドーム大分
国土交通省九州運輸局大分運輸支局	国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所
大分法務総合庁舎	平和市民公園
大手公園	大分城址公園
アートプラザ	荷揚複合公共施設
荷揚リンクスクエア	大分県立大分舞鶴高等学校
大分県立大分商業高等学校	大分市営温水プール
大分県身体障害者福祉センター	大分市立三佐小学校

大分市立舞鶴小学校
 大和リース株式会社
 ダイワ運輸株式会社
 かめや釣具株式会社大分萩原店
 セブンイレブン大分中島中央店
 宇和島運輸株式会社別府港フェリーターミナル
 王子整骨院
 別府重度障害者センター
 大分県立新生支援学校
 社会福祉法人新友会
 社会福祉法人法治会就労継続支援事業所げんき塾
 介護タクシーひづめ

王子マテリア株式会社
 株式会社きんでん
 明星国際ビューティカレッジ
 セブンイレブン大分日岡3丁目店
 ローソン大分大津町1丁目店
 大分第一ホーバードライブ株式会社
 JAべっぴん日出
 一般社団法人大分県医師会
 大分県のぞみ園
 社会福祉法人アップルメント
 福祉タクシー得友

大分市竹町通商店街振興組合
 赤レンガ通商店街
 学校法人大分カトリック学園カトリック海星幼稚園
 一番運輸株式会社
 道守大分会議
 大分県酒造組合
 一般社団法人大分県タクシー協会
 茶道裏千家淡交会

大分市中央町商店街振興組合
 八幡総本宮宇佐神宮
 大分市立大道小学校
 一般社団法人日本デフビーチバレーボール協会
 公益社団法人大分県理学療法士協会
 一般社団法人大分県バス協会
 公益社団法人大分県トラック協会

有限会社大分タキ
 株式会社ミキ

日進医療器株式会社
 株式会社オーエックスエンジニアリング

第44回大分国際車いすマラソン事務局名簿

大会実行委員長 首藤 文彦
 大会事務局長 日野 貴之
 事務局次長 瀬尾 一哉

全体統括 松岡 新也
 コース・医務 野上 翔平
 クラス分け・宿泊輸送 浜田志名子
 競技場・閉会式 長野 修三
 選手受付 曾我 晶子
 事務補助 藤原 彩楠

交歓のタベ 岩屋久美子
 アシストスタッフ 大久保峻吾
 事務補助 横山 公敏

車両 加藤 雅也
 スタート 後藤明日香
 ドーピング・交流 中野 まゆ
 選手管理・FCA 佐藤 由紀
 競技運営・記録 原 香代子
 国際渉外 衛藤 千乃

開会式 部原 匠
 事務補助 大平 純子
 事務補助 後藤 稔子

大 分 県 公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会／
一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

大 分 市 大分合同新聞社／社会福祉法人大分県社会福祉協議会／
大分県障がい者スポーツ協会

第44回大分国際車いすマラソン 記念誌

企画編集 大分国際車いすマラソン事務局
(大分県福祉保健部障害者社会参加推進室)
<https://kurumaisu-marathon.com>
TEL 097-533-6006
FAX 097-506-1736

印刷所 株式会社 佐伯コミュニケーションズ
TEL 097-543-1211

Platinum Partner

OMRON

SONY

HONDA

三菱商事

DENSO

Fsas Technologies

新日本製薬

美と健康の「新しい」で、笑顔あふれる毎日をつくる。



一般社団法人
中村裕バラスポーツサポートミーティング
Yutaka Nakamura Parasports Support Meeting

Official Partner

大分銀行

クラブティア

FUJITSU

Canon

SHIPS

Gibraltar
ジブラルタ生命

清水建設

公益社団法人
大分県薬剤師会
Oita Pharmaceutical Association

マルミヤストア

ANA

JA共済

不動産の総合パートナー
別大興産

東京海上日動

一生運のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

鬼塚電気工事

日本郵便

NTT西日本

障害者支援施設
清流の郷

ブンゴヤヘルスケア
ブンゴヤ薬局グループ

日本赤十字社 大分県支部
Japanese Red Cross Society

SUZUKI CO.,LTD.

新星工業株式会社

DAITETSU
株式会社 大建

transcosmos
people & technology

暘谷苑

第一交通産業
DAIICHI

HOVERDRIVE
FLY TO THE UNKNOWN

YANAI

株式会社 まるひで

JTB 感動のそばに、いつも。

創業慶應二年
太田旗店

やさしさのための技術がある
平倉建設

明治安田

アドテック株式会社

SMBC

歯科技工

佐伯コミュニケーションズ



マルトウ物産販売

臼杵運送

NIPPON STEEL
日本製鉄株式会社

NIPPON STEEL
日鉄テックスエンジ

NIPPON STEEL | 日鉄物流

山九株式会社

別府温泉
杉乃井
ORIN HOTELS & RESORTS

FIG
Future Innovation Group

FRESH FOODS FACTORY

コープおおいた

信用で人をつなぐ
ジェイリース

EVENT WORK
四季祭

●本大会は、「赤い羽根共同募金配分金」の助成をいただいています。

